2024 年度

事業報告書

法人本部
町田市大賀藕絲館
町田市美術工芸館
こころみ
かがやき
居住支援事業(にじ・クレヨン)
相談支援事業(とびら・忠生地域障がい者支援センター)
ひかり療育園

社会福祉法人まちだ育成会

２０２４年度を振り返って

「制度の変化と新たな挑戦」　　理事長　清水謙一

2024 年度は、障がい福祉の分野にとって大きな節目となる一年でした。
3 年に一度の「障害福祉サービス報酬改定」が行われ、特に生活介護サービスでは、これまでの日額制から**時間単価制**へと仕組みが変わりました。
この制度変更により、通院や体力の関係で**短時間しか通えない方への配慮**が進む一方で、事業所の運営には新たな課題も生まれています。
私たちは、国や自治体から発信される情報や Q&A を丁寧に確認しながら、現場・管理者・本部が力を合わせて、制度を理解し、よりよい支援の形を模索してきました。

現場と本部が一体となって取り組んだ一年

大賀藕絲館では新たな**給食事業をスタート**。安心して帰る環境づくりを進めました。
美術工芸館では施設の**改修工事**が始まり、今後の良い活動環境に期待が高まります。
かがやきでは**ダリア園40周年プロジェクト**も開始され、さまざまなアイディアが出され、検討が始まりました。
こころみでは、地域の魅力を伝える**「観光化」**にも挑戦しています。
ひかり療育園は、建替えに向けた**建築設計**の段階に入り、未来を見据えた準備が進んでいます。
とびらでは、ひかり相談として**高次脳機能障がい**のある方の相談支援を継続し、地域の大切な相談窓口として役割を果たしています。忠生地域障がい者支援センターでは**区分調査**の拡大年度にあたり、調査件数が増え、ますます地域に求められる存在となっています。
にじでは、グループホーム**カブスの移管**に加え、短期入所は**地域生活拠点**として登録されました。

新しい風と次のステップへ

法人では今年度、**人事制度の見直し**にも本格的に取り組みました。
各施設から集まったメンバーでプロジェクトチームを組み、世代や経験のバランスを考えながら、新しい制度づくりを進めています。
また、本部では**世代交代や障がいのある職員**の採用も進み、これまでになかった視点や活力が加わり始めています。
私たちは、法令順守を土台にしながらも、現場の柔軟さや創造力を支える“開かれた本部”であり続けたいと考えています。2025 年度も、「すべての人が安心して、その人らしく生きられる地域社会」の実現に向けて、私たちは歩みを止めず、チャレンジを続けてまいります。

社会福祉法人まちだ育成会

まちだ育成会　基本理念

ひとり一人の命と人権を守り、個性を尊重し、かけがえのない人生を大切にします。

共に支えあい、共に歩み、心豊かでいきいきとした暮らしを目指します。

地域の人と、心を通わせ、絆を深め、福祉の輪を広げていきます。

まちだ育成会　スローガン

共に支えあい、歩み、輝く

まちだ育成会　基本方針

- ご利用者の笑顔と心豊かな暮らしの実現を目指します。
- 個性溢れる施設の特色を生かして地域と連携します。
- 職員ひとり一人に目標を持った人材育成を行います。
- コンプライアンス（法令の遵守）を徹底し、健全で安定した運営を行います。

まちだ育成会　職員憲章

1．私たちは、ご利用者の人権を守ります。
2．私たちは、ご利用者の主体性、個性を尊重し、自ら適切な選択や決定ができる支援を行います。
3．私たちは、ご利用者の社会参加の機会を提供します。
4．私たちは、より高度な倫理観を持ち、専門性の向上を目指し、自己研鑽に励みます。
5．私たちは、常にチームワークを大切にし、いきいきとした職場作りに努めます。

◇目　次◇

〈法人本部〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

〈町田市大賀藕絲館〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

〈町田市美術工芸館〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

〈こころみ〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

〈かがやき〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

〈居住支援事業[にじ･クレヨン]〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44・50
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45・51
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

〈相談支援事業[とびら･忠生地域障がい者支援センター]〉

１ 施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
２ 重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
３ その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

〈ひかり療育園〉

１施設経営状況報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
２重点項目に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
３その他の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62

〈監査報告書〉

監事監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65

2024年度 法人本部経営報告

法人本部長　清水　謙一

はじめに

今年度は３年に１度の報酬改定があり、特に生活介護事業は時間単価に変わり、重度の方や高齢になり通院や体力等で短時間や日数の制限などを必要としており、時間単価になる事で生活介護事業の運営を懸念していました。報酬改定の内容情報が徐々に開示されており、Ｑ＆Ａの情報を見逃さない様に対応していきました。本部と管理者、現場職員の共通理解、理解度を上げる事に努めていきました。

大賀藕絲館の給食事業の開始、美術工芸館の改修工事開始、指定管理更新、かがやきのダリア園４０周年プロジェクトの開始、こころみの観光化、ひかり療育園の建て替え建築設計作成、とびらによる高次脳機能障がい相談の運営、忠生地域障がい者支援センターの区分調査量の拡大年度、にじではグループホーム「カブス」の移管、短期入所事業の地域生活支援拠点登録など、各施設と本部が一体となって取り組みました。

人事制度の改定に向けて、各施設からメンバーを参集してプロジェクトチームを組み、年代バランス、経験バランスなどを考慮したメンバー構成になっています。

法人本部も世代交代や障がい者雇用も行い、新たな風が入りました。各事業所がより良いご利用者支援、家族サポート、地域支援が行える支えとして法令順守、コンプライアンスを土台に柔軟な本部運営に取り組みました。

１法人経営状況報告

◇1-1利用者数、出勤率（入退所の情報）

拠点区分	2024.4.1現在	期間中入所	期間中退所	2025.3.31現在	出勤率 利用率
大賀藕絲館	68	0	0	68	84.0%
美術工芸館	69	0	0	69	81.5%
こころみ	20	0	1	19	92.7%
かがやき	79	0	0	79	87.3%
居住支援（にじ）	16	0	0	16	99.4%
ひかり療育園	48	1	5	44	72.0%
合計	300	1	5	295	

➢居住支援事業の述べ利用泊数（※在宅支援含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
にじレッド(共同生活援助)	210	217	210	213	216	210
にじオレンジ(共同生活援助)	270	271	270	278	268	267
クレヨンレッド館(短期入所)	47	50	44	44	49	47
クレヨンオレンジ館（短期入所）	45	30	46	48	48	40

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働平均	平均利用率
にじレッド(共同生活援助)	217	210	217	217	196	216	212	99.8%
にじオレンジ(共同生活援助)	279	270	278	272	251	279	271	99.0%
クレヨンレッド館(短期入所)	46	48	48	44	42	49	46.5	76.4%
クレヨンオレンジ館（短期入所）	49	50	46	46	45	46	44.9	73.8%

（昨年：にじレッド館99.6%、オレンジ館98.8%　　クレヨンレッド館63.2%　オレンジ館62.7%）

➢相談支援事業の窓口申請･問合せ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来所での申請問合せ	137	140	101	197	252	117
電話での申請問合せ	51	63	63	70	127	88
合　　計	188	203	164	267	379	205

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
来所での申請問合せ	156	148	136	142	202	181	1,909	159
電話での申請問合せ	119	68	96	107	83	93	1,028	86
合　　計	275	216	232	249	285	274	2,937	245

（昨年：月平均合計222件）

◇1-2職員数、離職率

① 期間中の職員入退職状況

拠点区分	2024.4.1現在	期間中入職	期間中退職	2025.3.31現在	離職率
法人本部	7	1	0	8	0%
大賀藕絲館	37	8	7	38	18.9%
美術工芸館	32	3	3	32	9.4%
こころみ	8	1	1	8	12.5%
かがやき	51	2	6	47	11.8%
居住支援	10	4	4	10	40%
相談支援	9	0	0	9	0%
ひかり療育園	17	0	3	14	17.6%
合　　計	171	19	24	166	14.0%

（4/1入職者含む）　（3/31退職者含む）

※短期採用者算入なし　（離職率：2023年度末現在　17.4%）

② 契約区分別期間中入退職内訳

契約区分	2024.4.1現在	期間中入職	期間中退職	2025.3.31現在	離職率
正規職員	70	9	9	70	12.8%
嘱託職員	15	1	2	14	13.3%
契約職員	37	3	7	33	18.9%
専従職員	49	6	6	49	12.2%
合　　計	171	19	24	166	14.0%

③ 時間外労働の整理と適正化

	2024年度	2023年度	増　減	
残業手当総額	22,113,033円	19,673,156円	2,439,877円	12.4%増
残業時間	15,467h	15,255h	212h	1.4%増

◇1-3就労会計（通所のみ）

拠点区分	収　入	支　出	収　益
大賀藕絲館	12,390,380	12,898,128	▲507,748
「心和」	2,499,588	1,894,970	604,618
美術工芸館	9,733,726	9,641,377	92,349
こころみ	4,213,418	4,393,242	▲179,824
かがやき	18,663,262	19,620,468	▲957,206
合　　計	47,500,374	48,448,185	▲947,811

◇1-4工賃実績

（単位：円）

拠点区分	工賃合計	賞与合計	合計	平均工賃
大賀藕絲館	8,111,050（600） （心和1200）	1,537,500	9,648,550	12,482
美術工芸館	5,437,800（400）	320,000	5,757,800	7,416
こころみ	2,279,750（500）	69,250	2,349,000	9,996
かがやき	12,593,250（750）	1,439,000	14,032,250	15,137
合計	28,421,850	3,365,750	31,787,600	

※（　）内は日額

◇1-5給付収入、委託収入（実績ベース）

（単位：円）

拠点区分	生活介護	就労継続支援B型	居宅事業	短期入所	特定相談支援事業	委託事業	合計
大賀藕絲館	74,182,915	57,730,659					131,913,574
昨年度	68,932,855	57,480,557					126,413,412
美術工芸館	80,916,217	43,264,354					124,180,571
昨年度	81,048,462	43,571,360					124,619,822
こころみ		40,056,004					40,056,004
昨年度		36,319,118					36,319,118
かがやき	93,467,640	95,128,612					188,596,252
昨年度	89,530,471	85,072,020					174,602,491
居住支援			50,348,403	9,437,825			59,786,228
昨年度			50,223,441	7,463,030			57,686,471
相談支援					2,669,738	33,945,325	36,615,063
昨年度					2,512,928	30,066,720	32,579,648
ひかり療育園	65,453,076					63,496,391	128,949,467
昨年度	67,106,208					69,410,529	136,516,737
合計	314,019,848	236,179,629	50,348,403	9,437,825	2,669,738	97,441,716	710,097,159
昨年度合計	306,617,996	222,443,055	50,223,441	7,463,030	2,512,928	99,477,249	688,737,699

◇1-6修繕実績（実績ベース）

拠点区分	修繕件名	金額
大賀藕絲館	電気蒸し器カートリッジ交換	39,930円
	静養室水漏れ修繕	5,500円
	トイレ詰まり改修	5,500円
	業務用冷蔵庫水漏れ修理	34,001円
美術工芸館	スチームコンベクション修理	40,370円
	2階トイレ修繕	7,700円
	スチームコンベクション修理	30,360円
	ティーディスペンサー修理	35,640円
こころみ	給湯配管・水栓増設工事	40,700円
	トイレ排水管洗浄	49,500円
	換気扇交換	町田市
	ウッドデッキ交換	町田市
	樹木粉砕機修理	132,000円
かがやき	農機具修理	80,690円
	2階女子トイレドア修理	379,500円
	ガス空調機修理	75,119円

	井戸ポンプ修理	1,628,000円
	2階女子更衣室引き戸戸車交換	8,800円
に　じ	オレンジ館　エレベーター修繕	308,000円
ひかり療育園	ノートPC修理	119,862円

◇1-７助成金

東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業　　交付額　22,540,000円

かがやき　木下財団　プロジェクター　　170,000円

障害者雇用調整金・特例給付金　　1,383,000円

障害者施設等物価高騰緊急対策支援金　1,162,256円

特定求職者雇用開発助成金　　600,000円

◇1-８固定資産になる物品等

【器具及び備品】

藕絲館　給食用冷凍冷蔵庫　440,000円

藕絲館　冷蔵ショーケース　550,000円

かがやき　プロジェクター　172,480円

全施設　VPNルーター　　125,620円

ひかり　デジタル車いすスケール　　379,500円

【建設仮勘定】

ひかり　基本構想業務　1,650,000円

２重点項目に関する報告

2-1　今年度における重点項目

（1）法人組織の機能強化

法人職員数も 170 名を超え、新たな法人組織編成に向けて、法人組織の基盤で重要な人財をしっかり固めていく必要があります。その為 4 月から目標管理制度をスタートし、キャリアデザインを意識した目標設定を行い、１つ１つステップアップが実感できる制度を開始しました。

① 人材確保、育成、定着の強化

【人材確保】

情報発信委員会を設立し、動画、SNS を活用した人材確保や YouTube 等から情報発信を行いました。中途採用ではハローワークの他、「マイナビ転職」への求人掲載をし、人材確保ができています。労働者の減少などが危惧されていますが、今後も引き続き人材確保ができるよう、さらなる「ブランド化」等の魅力発信に努めます。

【人材育成】

初任者研修制度は仕組み化していますが、役職者、指導職層の育成強化が必要です。「管理者OJT」の定期開催を行い、部下の育成方法、現行の福祉制度、これからの福祉、財務とはなどの研修を行い、管理職、中核人材への育成を強化しています。

3ヶ月に1回の内部研修の実施、外部講師研修も年1回実施を予定しています。その中で7月には外部講師をお招きし、虐待防止研修を実施しました。

動画研修を継続し、「このテーマを今聞きたい」という個人のタイミングで講義を聞くことを可能にする研修制度を活用しました。これからも子育て世代、短時間契約者、グループホーム職員など時間の有効活用を図り充実させていきます。

【人材定着】

施設間実習を行います。施設間との交流や支援感、作業、余暇や他事業（グループホームや相談）などの体験を行います。

法人委員会の委員長を係長、主任に移譲し、新たな活力、視点を取り入れられる仕組みにしました。法人経営やチームマネジメントを実践する場としても位置付けます。

また新規採用職員の早期離職等防止等の為、法人本部によるフォローアップ面談も実施しました。1 年を通し、その時点での困りごとなど雑談形式で聞き取りを行いました。聞き取った内容等は経営会議で共有し、双方が働きやすい環境づくりに取り組みました。

さらに、産休・育休取得者が 3 名あり、そのうち 1 名は法人初の男性の育児休業取得となりました。これからもワークライフマネジメントの推進を図り、職員定着を意識した職場環境づくりに取り組みます。

② 第三期　中期経営計画の実行

2023 年度～2027 年度の 5 ヵ年の中期経営計画の 2 年目となります。

社会情勢、福祉制度の未来の想定を行いながら「まちだ育成会」の道しるべとして、運営会議、経営会議、理事会などに報告を行いました。ご意見をいただきながら取り組んでいきます。

③ 業務見直し、経費削減の強化

物価高騰、水道光熱などのエネルギーの高騰また郵便料金の引き上げなどを受け、さらなる業務、経費のムリ・ムダ・ムラを整理し、業務の見直し、経費削減を強化しました。

能力を上回る、労力が不足しているムリ（無理）な状況、必要のないものに時間・労働力・経費をかけているムダ（無駄）な状況、ムリとムダが混在しているムラ（ばらつき）がある状況をムリ・ムダ・ムラの 3 つの合言葉で見直しを行っています。

(2)外部因子への対応

① 報酬改定への取り組み

報酬改定への対策、加算の取得、処遇改善の分配方法など施設の財務設計を見直しました。

制度理解を管理者、職員とも共有して、計画的、取りこぼしのないような取り組みを行いました。特に生活介護は未だにその解釈に変更が入ります。一度国保連に請求したものについても、解釈に相違がみられた際には、過誤申立を行うなど、確実な国保連請求に努めました。また研修の受講があれば取れる加算なども、その基準がより一層厳しいものになりました。情報収集の継続や、計画的な研修の受講を進め、安定した施設運営に繋げました。

② 指定管理制度の在り方の検討

美術工芸館の指定更新の手続き年度となり、6 月に申請を行い、10 月には指定管理者の指定を受けました。障がい福祉課とも指定管理制度の在り方について意見交換を交わし、今後の道筋を立てました。

③ 給与表と人事制度の見直し

2014 年度から適用している給与表も 10 年を迎え、まちだ育成会の 10 年後の未来を考えていく上で時代に合った人事制度、給与表を社労士等との協議を重ね見直しを開始しました。人材育成をさらに意識し、正しく努力した職員が報われる制度、柔軟な働き方、魅力的なキャリアアップを検討していき新たな人事制度と給与表を構築します。9 月から各施設の管理者、施設代表職員を集めて、「人事制度改定プロジェクト」が始動しました。2026 年 4 月の本運用開始に向け、まずはキャリアコース設計から進めました。

④ グループホームの新設の検討、準備

法人在籍の利用者が 300 名となりました。利用者の高齢化や家族の年齢等を考えるとグループホームの必要性が高くなっています。各保護者会からも多くのご意見をいただいています。

ニーズに応えていき、安心して暮らせる環境をつくる為検討、準備を進めています。
さらに町田市社会福祉協議会が運営しているグループホーム「カブス」について、その事業を引き継ぐべく、事業譲渡契約を締結しました。また現在カブスで働かれている方の継続雇用など、説明会を開催しました。同時に町田市や東京都等との連絡調整等を行い、「カブス」一番の魅力でもある都営住宅の継続利用について、手続きを進めました。
２月には変更届の提出、３月には都営住宅の使用許可も下りました。町田市社会福祉協議会様との引継ぎを行い、ご利用者が不安なくその事業が引き継げるよう努めました。

⑤ 美術工芸館の改修工事に向けて
2024 年度秋から町田市が実施する改修工事が予定されており、事業の継続、利用者、保護者の安心、安全を確保し改修工事が実施されるように取り組みを行いました。それに伴い建物全体に足場がかかる事もあり、今年度は美工フェスは中止となりました。

⑥パソコン一部入替の準備
Windows10 の保守が来年度終わる事を見据えて、全社のパソコンの状態を確認し入替が必要な PC を整理しました。無料でアップデートできるものはそのまま活用していきます。

⑶事業推進

① ひかり療育園の建て替え準備
ひかり療育園の建て替え構想を本格的に進めています。地域に親しまれる建築デザイン、構造にするためワークショップの開催を行いました。同時に仮設への移転準備も進めました。建築士とも協議を密に行い、建築スケジュールの見直しなど検討、進めました。
また視察研修も引き続き実施しました。６月には広島にある（社福）若葉・（社福）みどりの町に伺い、ひかり療育園の建替えだけでなく、次期中期経営計画も見据えた視察が行えました。参考になる刺激をたくさん受けてきました。

視察研修

日程	場所	視察先	参加人数
2024.6.26(木)~27(金)	広島	(社福)若葉・(社福)みどりの町	４名
2024.10.11(金)	藤沢（善行）	さんわーくかぐや	３名
2024.11.22(金)	浜松	クリエイティブサポートレッツ	２名
2024.12.12(木)	奈良	グッジョブセンター	３名
2025．2.	千葉	空と海	２名

② 忠生地域障がい者支援センター、とびらにおける地域生活拠点等の機能を取り組む
とびらとして地域生活支援拠点の面的整備の一翼を担っています。地域の体制づくりとして、忠生エリア凸凹ネットワーク、地域ケア推進会議、法人連相談支援事業所連絡会、町田市相談支援事業所連絡会など、地域の相談支援事業所や高齢分野の事業所等と連携を図りました。

③ ひかり療育園の安定的な運営とさらなる充実の検討
来年度から、マイクロバス１台を削減し、ハイエースを２台導入とドライバーの採用などの準備を行いました。利用者、家族が安心できるように送迎時間や運行ルートなどを見直し、よりきめの細かい送迎を行うように準備を進めて来ました。

⑷財務規律の確立

① 経費の削減

報酬改定で厳しくなった事業もあり、業務委託費の削減に取り組みました。清掃、点検等の契約を法人全体で取り組む事でスケールメリットを活かした経費の削減へ繋げています。

② 給与明細発行会社の変更準備

職員数も 180 名程度となり、さらに個人情報の保護強化、データーサーバー安定強化の観点から明細発行会社の変更の検討、準備を進めて来ました。

③ ネットバンク、キャッシュレスへの取組み

全社的なネットバンクの導入により現金支払いの機会の更なる削減に努めます。「paypay」の導入を行い定着してきました。職員の給与支給についても職員との意見交換、調査を行い検討していきます。

④適切な人員配置

事業所ごとの人件費率や職員数の見直しを引き続き行いました。人だけでない工夫や取組みも他事業所や他法人の取り組みも取り入れながら検討をしています。代行サポート職員体制も４年が経過しました。急な職員の欠員、不足事態に対応する職員がいる事で困った時に法人全体でサポートしていく文化、風土が少しずつ構築されてきました。

⑸地域との連携継続･強化

① 地域団体等との連携

町田市、町田市社会福祉法人施設等連絡会、町田市社会福祉協議会、特定相談支援事業所、特別支援学校等と引き続き連携、協力関係を保ちました。

② 障がい者支援センターを中心とした連携の強化

忠生地区協議会及び高齢者支援センターとの関係性がますます深まり、高齢化対策も踏まえた連携の強化を図りました。また、自治会（町内会）、警察署、医療機関、教育機関、消防関係など、地域住民とのネットワーク形成にも積極的に取り組みました。

③ ひかり療育園高次脳機能障がい者相談事業を中心とした医療ネットワークの連携と構築

高次脳機能障がい者相談事業の実務を「とびら」で行いました。医療と繋がりが大事であるため、ひかり療育園が持っている医療ネットワークを引継ぎ、さらに連携強化を図り充実した医療、福祉の繋がりを充実させました。南多摩圏域での他市の連携も充実させています。

④ 大賀藕絲館の送迎車を利用した地域貢献活動

高齢者への買い物支援の一翼を担っていきます。週１回地域の方で買い物にお困りの方への支援を行いました。大賀藕絲館だけでなく本部としてもサポートしていきます。

⑤ まちだ育成会後援会との協力関係強化

引き続き積極的に運営に関わり、会員数の増加、施設行事の活性化を推進しました。

⑥ 法人保護者会の開催

高齢化やライフステージを意識した準備を考えられる機会の提供をしました。質疑応答やグループディスカッションを通じ、よりご家族のニーズに寄り添う経営に取り組みました。

⑦ 町田市手をつなぐ親の会の再構築を図る

手をつなぐ親の会の名前を引継ぎ、今までの親の会の意思を次世代に繋げられるように新たな形として会を発足しました。新たに名前を手をつなぐ親の会「つむぐ」とし、10 月には講師として全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長　又村あおい氏をお招きし、「親なき後を考える」と題したリニューアル記念講演会を開催し、49 名の方にご出席いただきました。また１月には懇談会を開催し、参加いただいた 12 名の方々から、ニーズの把握や今後の活動

についてアイデアをいただきました。

⑺会議と委員会整理と可視化

① 理事会、評議員会、苦情解決第三者委員会の開催

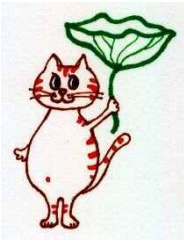
会議名	開催日	おもな審議事項
理事会	6月7日	第2次補正予算・2023年度事業報告書、2023年度決算報告書、理事辞任に伴う解任について、新理事候補者の選出について、新評議員候補者の選出について、評議員選任解任委員会の招集について、定時評議員会の開催について、給与規程、有期嘱託・有期契約職員就業規則、有期専従職員就業規則の改正について、ひかり療育園建替えに伴う基本構想業務委託契約について
評議員会	6月22日	2023年度計算書類及び財産目録の承認について 新理事の選任について、役員及び評議員並びに評議員選任・解任委員会の報酬等に関する規程の改正について
理事会	9月6日	グループホーム「カブス」の移譲契約について、人事制度改定コンサルティング契約について、共同生活援助「にじ」短期入所「クレヨンオレンジ館」住所表記変更に伴う運営規程の改正について
理事会	12月6日	2024年度上半期事業報告、2024年度上半期決算報告、短期入所運営規程の改正について、2024年度第2回評議員会の開催について
理事会	2月14日	第1次補正予算、にじ運営規程の改正について
理事会	3月27日	2025年度事業計画、2025年度当初予算、経理規程の改正について、給与規程・有期嘱託・有期契約職員就業規則・有期専従職員就業規則の改正について、育児介護休業規程の改正について、にじ運営規程の改正について、役員等賠償責任保険契約について、かがやき運営規程の改正について
経営会議	月2回	法人運営について、人事制度構築、カブス・新GHの検討準備、親の会、ひかり建替え、美術工芸館大規模修繕、視察研修等について
運営会議	月1回	衛生委員会との連携、各施設情報共有、職員倫理等について、「ほのぼの」支援記録システム入力等について

② 各委員会の機能強化

法人委員会名	内容、目的
災害対策委員会	地震、水災、風災、ウィルス等に備える為に情報共有、検討を行う。個別避難計画書の作成。 ＢＣＰを活用した訓練の実施、伝達訓練の実施
作業充実委員会	作業提供に悩むケースをあらい出し、アプローチ方法を検討
法人送迎委員会	法人全体での最適化した送迎への検討 ゆい・わおん便の開始、アルコールチェック義務化対応
虐待防止・身体拘束適正化委員会	虐待防止の取り組み、安全衛生の観点で危機管理を検討するため、施設見学を実施
あじさいの会（利用者自治）	利用者からの意見を聞く場、利用者主体な施設運営の検討。永年勤続表彰を実施。
支援スキルアップ委員会	サービス管理責任者などを中心に利用者支援の充実を図る。

	個別支援計画のスキル向上・ケース会議の充実 研修の計画、立案
魅力発信委員会	法人広報誌の年４回の発行・後援会特別広報誌を発行 Instagramの継続
GH情報交換会	GHやSSのご利用者のケース等、情報共有
管理者OJT	管理者が講師となり、管理者として知識・質・心構えなどを学ぶ 6月 リスクマネジメント　　8月 ビジネスマナー １０月 中期経営計画振り返り　1月 福祉制度理解

2024年度　町田市大賀藕絲館事業報告



施設長　清水愛

はじめに

4月に3名のご利用者が入所しました。年度末には、3名の退所者がいました。

4月から施設での給食提供が開始しました。時間通りに提供できるのか、狭いスペースでの調理や配膳をどう組み立てていくか等、話し合いを重ね改善をしてきました。月日が経過していく中で夏には、調理職員の動きにも余裕が出てきました。ぐうし館の畑で取れた玉ねぎ、茄子、ゴーヤ、ミニトマトなどをメニューで使用することが出来ました。また、5月に大勢の方に給食試食会にご参加いただき、激励の言葉をいただきました。今後の給食事業を継続していく強い決意となりました。毎月の誕生日メニューの日には、昼食時にバースデイ放送を流し、お祝いをしました。

6月紅花祭りでは、新たな畑を借りて、初めて紅花を植える場所での開催となりました。新たな畑での紅花の生育は、上々でした。来場したお客様も紅花畑を喜んでいただきました。また、新たな畑を貸していただいた地主さんがご自身の畑に花が咲き、来客があるという事に大変喜んでいただきました。7月蓮祭りは、昨年同様に「ずしまちいち」と同日開催をしました。蓮まつりは例年暑い中ですが、今年は朝から30度を超える中での催事となりました。開催方法の検討すべき課題と思いました。

伝統色彩士協会と協力し始めて2年が経ち、染め講習会の参加者増加、内容の充実が見え始めました。日本の文化である紅花作業を、ご利用者と交わりながら地域の方や他業種の方と一緒に行うことが出来ました。

新しく入所してくださるご利用者がいることで、ご利用者の平均年齢が毎年1歳づつ若くなっています。また、職員の顔ぶれも若い方が増えました。20代、30代が増えることは、体力面での作業内容やプログラムの検討が必要となり、新たな側面からチャレンジできる環境を作ることが大切になると感じた1年でした。

１施設経営状況報告

◇1-1利用者数、出勤率（数値目標等）

（１）利用定員：60名＜現員６８名＞

事業名	定員	2024年度平均出勤率	2023年度平均出勤率
就労継続支援B型事業『蓮』	40名〈現員42名〉	76.6%	74.5%
生活介護事業『紅』	20名〈現員26名〉	91.5%	89.1%

◇1-2職員数、有休取得率、離職率

（１）職員数　：40名

- 管理者　1名
- 就労継続支援Ｂ型事業『蓮』　10名　常勤換算 7.6
- 生活介護事業『紅』　13名　常勤換算 10.5
- 有期専従職員　15名
- 看護師　1名

（２）有休取得率：　60%

（３）離職率：　18.9%

月	退職	対象
7	1名	栄養士　有期契約職員
9	1名	有期専従職員
11	1名	有期契約職員
3	2名	調理員　有期契約職員

◇1-3就労会計

就労事業	収入目標	2024年	2023年度
蓮事業収入	5,000,000円	3,715,981円	3,439,284円
ハスの実工房事業収入	2,600,000円	3,629,339円	3,249,528円
紅花事業収入	600,000円	666,888円	400,901円
請負事業収入	300,000円	200,276円	216,834円
その他の就労事業収入	400,000円	705,338円	425,112円
売店事業収入(心和)	3,000,000円	2,499,588円	2,480,456円
合計	9,000,000円	11,417,410円	10,212,115円

◇1ー4工賃

	就労継続支援B型事業 『蓮』	生活介護事業 『紅』	全体
1日工賃額	600円 心和1,200円	600円	
平均工賃	12,206円	12,890円	12,482円
ボーナス 夏 冬 期末	10,000円 10,000円 5,000円		
総支給額	5,626,850円	4,021,700円	9,648,550円

◇1-5給付収入、委託収入

（1）給付費（指定管理事業）収入

月	蓮（B型）	紅（生介）	合計
4	4,737,401	5,988,765	10,726,166
5	5,034,268	5,973,065	11,007,333
6	4,670,110	6,093,755	10,763,865
7	5,135,708	7,557,300	12,693,008
8	4,434,491	5,950,552	10,385,043
9	4,414,023	6,001,017	10,415,040
10	5,209,786	6,645,843	11,855,629
11	4,824,531	6,311,103	11,135,634
12	4,705,807	6,024,613	10,730,420
1	4,770,707	5,703,734	10,474,441
2	4,708,506	5,741,053	10,449,559
3	5,085,321	6,192,115	11,277,436
合計	57,730,659	74,182,915	131,913,574

（2）委託収入

	収入
ハス栽培管理委託収入	1,357,930円
紅花栽培管理委託収入	167,200円

◇1-6修繕実績

・廃液処理

◇1-7助成金

なし

◇1-8固定資産になる物品等

・給食用冷凍冷蔵庫

・心和ショーケース冷蔵庫

２重点項目に関する報告

（1）ご利用者が安心して過ごせる環境作り

①ご利用者の特性や強みを見つけ理解し、楽しくやりがいのある作業提供をします。

→ご利用者の特性や強みを見つけ出せるよう、イベントや活動を実施しました。ご利用者の様々な様子を見ることが出来、作業や日中の過ごし方へ生かすことが出来ました。

（2）工賃を維持向上していくための製品作り

①本年度は日給600円の毎月の工賃支給と夏と年末の2回のボーナス支給を行ないます。

→夏と冬のボーナスを支給する事が出来ました。本年度は期末手当の支給も行ないました。

②紅花餅の生産量は昨年を上回る量を目指します。

→昨年度を上回り、3.7キロの紅花餅を作ることが出来ました。

（3）生活活動の内容の充実

①ご利用者へ生活面、身体面、余暇面の内容をふまえた生活活動の実施をします。作業以外の活動を行うことで、ご利用者のアセスメントを取り入れ、可能性を広げていきます。

②年に5回の生活活動を行います。年度初めに内容の検討を行ない、計画的に進めます。

→計画的に行うことが出来ました。

③年5回の活動の他にも適宜、ご利用者へ体操運動の時間や作業療法等を行ないます。

→ひかり療育園とぐうし館に分かれて音楽療法を行ないました。

（4）職員のチームワークの構築と人材育成

①課題や困難な場面に向き合い、解決できるチームを目指します。フロアー会議や夕方のミーティング時にどのような対応や方法をとるか、話し合える関係性を作ります。

→月1回のフロアー会議では、職員各々が発言できる機会を持ち、コミュニケーションに努めました。

②職員面談では、目標の確認、自身の仕事の振り返りや評価項目のアンケートを取り入れていきます。

→5月と12月に実施しました。

③2か月に1回、支援の質の向上に繋がるよう、職員研修を行ないます。その時々にあった内容の研修をおこないます。

→8月「自閉症スペクトラムについて」、9月「育成会業務支援ガイド支援の基本姿勢について」11月「法人として目指す人材について」の研修を行いました。

（5）作業の業務継承

①蓮作業、紅花作業を主に様々な作業のマニュアルを見直し、確認していきます。

→毎月の畑の作業報告、次月の作業予定を確認しました。

②特色ある作業を継承していくことの大切さ、特色ある作業を持っている強さを職員が理解を深め、作業継続が出来るよう会議等で話す機会を持ちます。

→新しい職員が多い中、手順が分からない中でも職員同士で教え合い作業しました。

③小山田の蓮田管理、薬師池の蓮田管理を行なっていきます。

→小山田の蓮田は、本年も見事な花がたくさん咲きました。蓮田として復活をさせている田も数本の茎や花の芽が上がり、来年度へつなげていきます。

（6）心和での取り組み

①心和として、販売会やイベントに参加する機会を設けます。

→実施できませんでした。

②年に1回以上、ご利用者のレクレーションを取り入れます。

→実施できませんでした。

③月末に職員ミーティングを行ない、情報共有を行ないます。

→6月に行ないました。

（7）給食事業の取り組み

①4月から給食事業を開始します。職員間での連携を図り、昼食が提供できる流れの構築に努めます。

→毎月の給食会議でのご利用者の様子、連絡相談、課題整理など話し合い、1歩づつ実践する事が出来ました。誕生日メニューの日の昼食時のバースデイ放送は、みんなの楽しみとなりました。

②給食事業開始にあたり、応援して下さった方々へ給食試食会を兼ねた祝賀会を開催します。

→5月18日に開催しました。関係各所からの来賓、保護者、ご利用者など総勢65名が集まり、給食を試食していただき、感想をうかがいました。豪華な和食のメニューでお腹がいっぱいになった事、大勢が集まってお祝いできて喜ばしい事など、各々から感想がでました。

重点目標に関しては、9月と3月の職員会議にて振り返り、進捗状況の確認をします。

→以上の重点項目を9月と3月の職員会議にて再確認と振り返りをしました。

3その他の報告

◇3-1就労（作業）

→・重点目標2-1（2）参照

→・紅花作業では、他施設のご利用者が花摘みに来て下さいました。人手が増えたことで、紅花餅の量も増やすことが出来、ご利用者同士の交流の場にもなりました。

◇3-2余暇活動（行事）

活動名	内容報告
外出活動 （休日活動等）	5月　給食試食会 6月　紅花まつり　紅花摘み取り体験 7月　蓮まつり 9月　土曜日活動 10月　1泊旅行 2月　いちご狩り

生活活動	５月　ポップコーンを作って、映画鑑賞しよう！ 7月　パシオスへお買い物 11月　フラダンス教室 1月～2月　一日おでかけ　スケート・プラネタリウム・高尾山 月1回　音楽療法　ひかり療育園の音楽療法も参加しました

◇3-3委員会の報告

委員会名	内　容
送迎	・毎日、安心して通えるよう安全な送迎を心懸けます。 ・月1回、送迎にかかわる職員間での打ち合わせを設けます。 →年度途中の新規職員の入職もあり、打ち合わせを通して情報共有に努めました。 →添乗職員、運転手の号車ローテーションを行ないました。職員同士で更にコミュニケーションが深まりました。
虐待防止・人権権利擁護委員会	・職員の人権侵害や虐待の防止の視点を確認する為に、年に一回人権擁護・虐待防止のチェックリスト行います。職員会議にてチェックリストの結果を考察し、日々の支援に振り返る機会を設けます。 →毎月の職員会議にて、ヒヤリハットや事故報告を行ない、その後の様子確認を行ないました。 →3月に職員向けに人権チェックリストを実施しました。
防災・安全	・大賀藕絲館災害時事業継続計画（減災計画）を検討していきます。 →法人の災害対策委員にて作成されたBCPを確認しました。 ・年に２回の訓練を行ないます。 →4月地震避難訓練　　2月花の家、桜館合同避難訓練
給食	・ご利用者や職員が楽しみで美味しい昼食が提供できるよう努めます。 →ご利用者の日々の食事状況の報告や誕生日のリクエストメニュー聞き取りをしました。 →配布間違えがないよう、配膳終了時にメニュー確認を行ないました。 →季節に沿ったメニュー提供が出来ました。
広報 魅力発信	・随時、ＳＮＳ（インスタグラム）を利用し、施設の情報を発信していきます。 →月に10回程SNSをアップし、施設情報の発信を行ないました。 →毎月、施設の情報をのせたぐうし館便りの発行を毎月行ないました。
保健	＜ご利用者の健康状態の把握＞ →毎月、体重と血圧測定を行い、欠席者に対しても、後日行いました。 ・ご利用者の健康診断受診の機会を設けます。 →6月に嘱託医による内科健診を行ないました。8月にご利用者42名の健康診断を行ないました。 ＜感染症対策＞ ・希望者にはインフルエンザの予防接種が行えるよう嘱託医と協議を行います。 →11月に46名が予防接種をしました。 ＜訪問歯科＞ →毎週1度の訪問歯科の診察が行なえるよう調整しました。 →診察があった方に対しては、連絡帳やお手紙にて報告をしました。 ＜訪問カット＞ →毎月1回、ご利用者が20名前後参加しました。散髪だけでなく眉カットと顔そりも行ないました。 ＜服薬管理＞ →昼食時の服薬忘れが無いか、毎日チェック表を使い確認を行いました。 →9月にご利用者の誤薬服用がありました。
美化	＜安全管理＞ →施設内に危険が無いよう整理整頓に努めました。 →グリーストラップ清掃を週に1度程行ないました。 ＜清掃パトロール＞ →施設近隣の清掃へ、ご利用者と共に行ないました。
工賃向上・売店	＜工賃向上＞ ・職員の工賃維持、向上に対する意識向上に努めます。

	→月に２～３回出店を行ない、職員がご利用者と一緒に販売する楽しみや作った物が売れる嬉しさを感じました。 →インターネット販売で、商品販売を行ないました。 ＜売店＞ →お客様が来店し楽しんで頂けるような商品陳列や季節毎の模様替えを行ないました。
ハッピー会	ハッピー会内容について →4月　年度開始と給食注文の話し・工賃規定について・あじさいの会代表決め・一泊旅行行先について 5月永年勤続表彰について・紅花作業とまつりについて・朝の歌について 6月ご利用者の永年勤続表彰式 7月蓮まつりの感想・土曜日活動について・厨房の愛称募集・歌について ８月ハス作業について・20周年企画について・厨房の愛称決定発表 9月あじさいの会から報告・お誕生日メニューについて 10月旅行の感想・トイレの使い方について・歌のアンケート・バースデー放送MC決め 11月お楽しみ会について・あじさいの会報告・2月の休日活動について 12月新年会について・お正月休みについて 1月食べたい育てたい野菜募集・合同避難訓練について 2月さくら祭りについて・新ご利用者と職員について 3月2025年度について・給食アンケート →日々、職員とご利用者での会話の中で出てきた質問、確認事項をハッピー会のテーマとしてとりあげました。

◇3-4職員研修

・以下の研修に参加しました。

月	研修内容	主　　催
4	楽技介護技術研修	法人
6	初任者研修	法人
7	法人内　虐待防止研修「アンガーマネージメント」	法人　講師：阿部美樹雄
9	東京都サービス管理責任者更新研修	公益財団法人　総合健康推進財団
11	ライフステージと機能低下	法人
11	強度行動障害者支援のこれから	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

◇3-5会議の開催状況

（１）　職員会議

→毎月、様々な情報共有や各職員の所属委員会の報告や検討を行ないました。

（２）　ケース会議

→毎月第二火曜日に予定を立てていますが、実施できない月もありました。

（３）　フロアー会議

・毎月、１Ｆ、２Ｆ担当職員で作業状況、周知確認、ご利用者のケース会議などを話し合います。日々の支援を円滑に行ない、チームワークを高めていきます。

→職員間のコミュニケーションを図ることも目的としました。

→作業状況、作業の方法、ご利用者の支援方法の確認などを話し合いました。

（４）　打ち合わせ

→毎朝、毎夕に定時にて行ないました。

予定の確認、その日のご利用者の様子や出来事を報告しあい、共有しました。

（５）　畑チーム会議

毎月1回実施。畑の現状の共有、課題、解決策などを話し合いました。

→月ごとの実績、予定の確認を行ないました。

（6） 給食会議

毎月1回実施。ご利用者の状況確認、次月のシフト、次月のメニュー確認、ヒヤリハット等話し合います。

→給食委員会、栄養士、調理員、施設長で話し合いを行ないました。

◇3-6リスクマネジメント（ヒヤリ、事故）

（1） ヒヤリハット

・常に、ヒヤリハットの意識を持ち、危険を察知できるよう職員の意識付けを行い、すぐに記録が記入できるようにします。

→日々の打合せにて、ヒヤリハットや事故報告、また、ちょっとした職員自身のミスを発表する「おっと」という項目を設けながら、確認を行ないました。

→職員会議で振り返りを行い、改善策を考えました。

（2） 事故

→事故が起きた場合は、速やかに報告すると共に、解決に向けた対策を行いました。

	ヒヤリ(おっと含む)	事故
4月	8件	
5月	8件	1件給食異物混入
6月	5件	1件電源入れ忘れ
7月	1件	1件異物混入
8月	12件	1件車両事故
9月	13件	3件車両事故
10月	7件	1件車両事故
11月	9件	1件転倒　1件行方不明　1件送迎忘れ
12月	6件	1件住居侵入
1月	17件	
2月	12件	2件車両事故
3月	7件	

→事故内容

・9月車両事故ついて

3件共に施設駐車場の電柱に当たる、送迎時に電柱に車体をこする等の事故が続いた。職員会議、送迎打ち合わせにて注意喚起をしました。

・12月住居侵入について

日中、施設を飛び出してしまったご利用者が他者の住居の物置へ入ってしまうことがありました。物置の新聞紙を取りに無断で立ち入ってしまい、所有者の方が警察へ通報しました。警察が来所し、当施設のご利用者と分かり、注意を受けました。

今後の支援方法として、そのご利用者へのこだわりの制止、作業内容やプログラムの充実、居場所の環境作りを整えていきました。

◇3-7苦情解決

・苦情を受け付けた場合は、すぐに報告をし、早急に解決に向けた対策を検討します。

・些細な苦情も受け入れ、相談者に寄り添った解決をします。

→8月　近隣の桜美林台自治会の会長からお電話をいただき、自治会の古紙回収のプレハブの中が散らかっており、ぐうし館のご利用者が散らかしているのではというご意見でした。この話をいただく前から、自治会長へは新聞にこだわりがあるご利用者がおり、古紙回収のプレハブに出入りしている旨を伝えていました。職員が適宜、片付けに行っていましたが、ご本人が行く回数が多く散らかっている事が多くなりました。謝罪し、会長がいらした時にそのご利用者

の様子を見ていただきました。会長との話し合いの末、プレハブの鍵は平日は施錠し、休日は開錠している形にするという話になりました。また、古紙収集の協力をする形をとり、今後も様子を見て、連絡を取り合うようにしていきます。

◇3-8実習生、ボランティア

（1） 実習生

→以下の実習がありました。

月	実習生受け入れ先
4	なし
5	町田の丘学園高等部3年1名
6	町田福祉専門学校2名
7	町田の丘学園高等部2年1名
8	フェリシア子ども短期大学2名
9	町田の丘学園中学部2年３名・町田の丘学園高等部3年1名
10	町田の丘学園高等部3年1名・一般実習1名
11	町田の丘学園高等部2年1名・職場体験小山中学校2名
1	職場体験金井中学校2名

（2） ボランティア

・ボランティアを受け入れ、作業のお手伝いをお願いし、ご利用者と一緒に作業して頂きます。

・外部の目を入れる事で、客観的に見て頂き、常に適切な支援が出来る力をつけていきます。

→就労準備支援団体の東京オレンジから、ボランティアに月1回来てくださいました。

月	4	5	6	7	8	9
人数	19名	23名	46名	28名	19名	24名
10	11	12	1	2	3	総合計
21名	30名	24名	15名	16名	29名	294名

◇3-9地域交流

（1） 地域貢献活動

→施設周辺の清掃活動を行いました。尾根緑道、プール周辺などで行いました。

→毎週水曜日の高齢者支援のお買い物バス「かしのみ号」の運行を行ないました。

（2） 祭り

→6月紅花まつり2日間約250名の来客がありました。フラダンスショーとお琴の演奏会を開催し、誰もが楽しめる内容となりました。施設裏の畑での紅花育成が思わしくなく、今年から紅花を育て始めた川向うの畑へご案内しました。今年も伝統色彩士協会と染め物をコラボしており、紅花で染めたTシャツや靴下、エコバッグなど販売しました。

7月ハスまつり約300名の来客がありました。蓮田公園の計画予定により、お祭り日を1日開催としました。また、近所の図師日影坂下公園で行なっている「ずしまちいち」と同日開催し、ぐうし館⇔蓮田⇔ずしまちいちの3ヵ所を回るシャトルカーの運行を行ないました。蓮田の花も見事に咲き誇り花数が多かったです。蓮田管理方法が上手くいっている実感を得ました。今年は新規にザリガニ釣り体験、ラムネ販売など神社で行ないましたが、子供の来客は少なく、売り上げは低かったです。また、気温が高く、暑さが堪えました。

3月さくら祭りを行ないました。さくらが開花する中、1日目は雨のため、来客は少なく、施設内でのんびり過ごしました。2日目は、来客も多く、準備していた物がほぼ完売しました。

（３） 染め講習会

→5月紅花の間引き菜染め講習会　3名参加。

6月紅花花摘み体験会　10名参加。

8月藍染講習会　3日間分けて行いました。7名参加。

2月紅花染め講習会　14名参加。

→伝統色彩士協会の協力のもと、行ないました。

◇3-10保護者会

・年3回の保護者会を開催します。

・保護者会を通して、日頃の活動や取組みについて報告をします。

→５月、8月、2月に保護者会を行ないました。

→保護者会では、保護者の視点からのご意見を伺うことが出来ました。

2024年度 美術工芸館事業報告

施設長　清水　謙一

はじめに

今年度、町田の丘学園から２名のご利用者が入所されました。
5 月には東京都障害者スポート大会に参加をしました。また、６月、7 月には 2 週にわたり静岡県に一泊旅行に行ってきました。

８月には猛暑の中、久しぶりに行われた全国障害者・高齢者フランイングディスク競技大会にも参加し、多くのメダルを獲得したご利用者の笑顔が見られました。また、忠生町内会とひかり療育園が合同で行った夏祭りに参加にも参加をしました。

正規職員が支援、作業、行事以外にも多数の業務に携わる事で、施設運営全体に関わり知る機会を多く持ちました。セクションの垣根を越えた協力、連携を当たり前に取り組む為の意識変容から始まり、部分最適ではなく施設最適する為に情報共有を大事にしてきました。何を、どこで、何の為に情報発信して共有する大事さを取り組んできました。今後は改修工事が始まります、さらなる情報共有を大事して自律的に動ける組織を目指していきます。

１施設経営状況報告

◇1-1 利用者数、出勤率（入退所の情報）

４月：２名のご利用者が就労支援Ｂ型事業所〈創〉に入所されました。

・就労継続支援Ｂ型事業〈創〉　現員 30 名
　平均出勤率：87.9%（2023 年度 88.6%）

・生活介護事業〈奏〉　現員 39 名
　平均出勤率：75.6%（2023 年度 81.5%）

・施設全体　81.5%

◇1-2 職員数、離職率

（１）職員数

就労継続支援Ｂ型事業〈創〉	６名〈常勤換算：4.4〉
生活介護事業〈奏〉	１５名〈常勤換算：11.2〉
有期専従職員（送迎）	６名
有期専従職員（調理）	５名

（２）離職率

9.4%

入職　５月１名（専従）、９月２名（正規）

退職　６月１名（嘱託）、９月１名（正規）、３月１名（専従）

◇1-3 就労会計（通所のみ）

就労事業	2024年度	2023年度
干　支　事　業　収　入	7,508,624	7,444,360
キャンドル事業収入	421,854	403,508
請　負　事　業　収　入	1,072,540	1,229,091
その他の就労支援事業	730,708	823,311
合　　計	9,733,726	9,900,270

◇1-4 工賃実績

- １日　４００円
- 平均工賃

	2024 年度	2023 年度
平　均	7,416 円	6,884 円
Ｂ　型	7,917 円	7,387 円
生　介	6,916 円	6,512 円

- 工賃支払　実績　5,757,800 円　（2023 年度 5,321,600 円）

◇1-５給付収入、委託収入（実績ベース）

（１） 給付費収入

月	就労継続支援Ｂ型	生活介護	合　計
４月	3,657,971	6,768,308	10,426,279
５月	3,583,667	6,639,292	10,222,959
６月	3,827,263	7,312,491	11,139,754
７月	3,599,129	6,547,588	10,146,717
８月	3,802,306	7,096,521	10,898,827
９月	3,475,336	7,447,785	10,923,121
10	3,837,880	6,674,549	10,512,429
11	3,615,122	6,816,475	10,431,597
12	3,795,069	6,846,000	10,641,069
1	3,626,761	6,439,960	10,066,721
2	3,291,476	8,570,238	11,861,714
3	3,713,212	7,074,219	10,787,431
合計	43,264,354	80,916,217	124,180,571
前年比	43,571,360	81,048,462	124,619,822

※前年比約 439,251 万円減収

（２） 委託収入

・製品作成委託料　3,717,980 円（前年比 29,273 円）

◇1-６修繕実績

該当なし

◇1-７助成金

該当なし

◇1-８固定資産になる物品等

該当なし

２重点項目に関する報告

◇2-1 重点目標

（１）　施設建物、部屋の活用の検討

１階、２階とも全館土足化を行い、エレベーター使用を利用者も使用できるように行いました。施設見学者、実習生なども全館土足化にする事でスムーズな移動が出来るようになりました。エレベーターを日常的に行うことで、雨の日や足の痛みで不安な時は使用できる事で利用者の移動もスムーズになりました。

車椅子の方なども２階で過ごす事ができるようになり、利用者、職員のコミュニケーション量が増えました。

利用者へ作業やりたい事アンケートを実施、作業班の構成を見直しを実施しました。

昼食はみんなで食堂で食べる事への準備を行いました。ひまわりレストランと称し、席を決めない、好きな場所で、いろんな人と食べるような内容にし、混じり合い、交流する事で楽しく、安全に食事の時間を過ごしました。

（２）就労作業の再構築そして工賃向上へ

美術工芸館としての強みを再確認し、資産の活用という視点で初代干支の再構築を検討し、3D プリンターの準備を行いました。

アート製作やものづくりでビーズ、絵、紙袋など新たな製品を利用者の表現活動として実施しました。

（３）リラックスプログラムと運動プログラム（余暇）の導入と整理

身体と心の健康維持が高齢化予防として大事になります。作業（働く）、利用者の役割、ゆっくりする時間、体を動かす活動を仕組み化していきます。

フライングディスクの練習週間や町田市スポーツ大会に向けて練習、生活活動で運動講師による体操教室、毎月実施する外清掃など活動量をあげる取組みを実施しました。利用者の心の安定につながる事を実感できました。

（４）町田市の実施による改修工事の対応

今年度秋から町田市の改修工事が１年間実施されます。建物の塗り替えや電気設備、配管工事が行われています。

３その他の報告

◇3-1 就労（作業）

（１）干支作業

- ご利用者に合った作業提供や作業手順を分かりやすく伝える事で、無駄なく生産ができました。不良の数も減りしました。
- 製作について困った事があった時は、原型製作者に来ていただき、指導を受けながら連携をとって製作する事ができました。
- 出生数の減少により、昨年度より 55 個少ない納品数でした。

（２）キャンドル作業

- ご利用者と一緒に畑を耕して青花の栽培を行い、新作の青花キャンドルやグラスキャンドルを製作しました。また、リサイクルキャンドル活動にも力を入れ、八王子の高乗寺と八王子ロータリークラブより使用済みろうそくの提供も受けました。

  高乗寺においては、ご利用者が描いた絵を表紙に使い、キャンドルのパンフレットを作成

をするとともに、「美工キャンドルブース」も作っていただき、販売を行いました。

（３）メダル

- 利用者の勤続感謝表彰に使用するメダルを作成しました。
- 全国障害者・高齢者フライングディスク競技大会のメダルの作成をしました。

（４）受注作業

- 既存のタオル作業と CD/DVD の仕分けのほか、お菓子の箱折や袋詰めの作業を開始しました。ご利用者の作業提供の幅が増えました。
- 町田市より生活保護受給者の自宅へ配布するゴミ袋の箱詰め作業を行いました。

◇3-2 余暇活動（行事）

（１） 生活活動

- ご利用者から近隣の行きたい公園を候補の中から選んでいただき、薬師池公園芹が谷公園に分かれ散策を行いました。散策の後に皆さんでジュースを飲み楽しみました。

（２）その他の行事

- ５月には東京都障害者スポーツ大会に参加をしました。
- ８月には４年ぶりに開催をされた全国障害者・高齢者フライングディスク競技大会に参加をしました。猛暑の中一生懸命ディスクを投げ、メダルも多く獲得しました。

◇3-3 委員会の報告

（１） 防災委員会

- 防災備蓄品の消費期限の確認を行いました。期限が近いものは給食に提供を行い無駄のない様にしました。また不足が出ない様に随時購入にしました。

（２） 給食委員会

- 毎月、栄養士、調理員と委員会を開催し、意見交換を行い、ご利用者の状況に合わせた食事方法を提供できました。
- 選択メニュー、誕生日メニューは継続して行いました。

（３） 広報委員会

- 広報誌「がしゅうこく」に工芸館の情報を発信しました。
- インスタグラムに工芸館の情報を投稿しました。動画を活用し情報発信を行い２０万再生がありました。

（４） 工賃向上委員会

- お寺や近隣の斎場により使用済みのろうそくをもらい、材料費の削減をする事ができました。
- 新たにお菓子の箱折り、袋詰めの請負作業を受注しました。

（５） 送迎委員会

- 月に一回開催し、送迎ドライバー、添乗員との情報共有を行い、各ご家庭からの要望や改善点など話合いを行いました。
- 車内の消毒、清掃をする事で、ご利用者に快適且つ安心・安全に乗車してもらう様に努めました。

（６） リスクマネジメント委員会

- 3-6 記入

（7） 保健衛生委員会

- 毎月、ご利用者の体重・血圧測定を行いました。
- 訪問歯科を継続的に行いました。３月末時点、32 名のご利用者が治療をしています。
- ５月に新型コロナワクチン予防接種６回目を行いました。
- ６月に嘱託医による内科健診を行いました。
- ８月にご利用者 54 名の集団健康診断を行いました。

（8） 美化委員会

- 施設周辺の環境整備に努め、掃き掃除や草取りを行いました。
- 近隣のゴミ拾いを行っています。

（9） 研修委員会

- 下記参照

◇3-4 職員研修

日時	研修内容	主催者
随時	Speciallearning	
4/26	楽ワザ介護技術研修（１回目）	まちだ育成会
5/13	楽ワザ介護技術研修（２回目）	まちだ育成会
7/29	アンガーマネジメント入門講座 虐待防止研修	まちだ育成会
６月	初任者研修	まちだ育成会
11/1	ライフステージと機能低下	まちだ育成会
2/7	GH めぐみの状況	まちされん
3/1	さんわーくかぐや上映会	

◇3-5 会議の開催状況

（1） フロア会議

- 各階フロアリーダーを中心に、ご利用者の状況や作業の進歩状況を確認し合い支援に繋げました。

（2） 職員会議

- 毎月開催し、情報共有や各員会に報告や予定確認を行いました。

（3） ケース会議

- 個々のケースについて職員全員に状況の共有を行いました。
  またご利用者に対応などで困っている事をグループに分かれてワーク形式で意見を出し合い、今後の支援に活用しました。

◇3-6リスクマネジメント（ヒヤリ、事故）

ヒヤリハットや事故に対する意識を常に持ち、危険を察知する様に職員に意識付けを行いました。また起った際は、夕方のミーティングで報告し改善策を検討しました。

事故	ヒヤリハット	合計
31 件	７件	38 件

内訳

月	事故				ヒヤリ	合計
	他害	無断外出	転倒	その他		
4	1		1	4		6
5				5	1	6
6				2	4	6
7			1			1
8			1	1	1	3
9	1			1	1	3
10			3			3
11			4			4
12			2			2
1			1			1
2			3			3
3						
計	2		16	13	7	38

（1） 事故

① 椅子を前後に揺らしていた所、後ろに転倒される。

☞座り方や座る位置などを確認して、声掛けするタイミングを図りました。

② 他の利用者を引っ掻いてしまった

☞ご自分で机などに摑まらず、必ず職員が抱えて座ってもらう様に職員周知しました。

（2） ヒヤリハット

① 休憩時に給茶機前が混雑していて、ご利用者同士が接触した。

☞混み合っている時は職員が声かけを行い、給茶機前に職員が立ち接触が起こらないように見守りを行いました。

◇3-7 苦情解決

・特になし

◇3-8 実習生、ボランティア

（1） 生徒実習生（特別支援学校等）

月	実習受入れ先
7	町田の丘学園２年生（3 名）
8	町田の丘学園１年生（1 名）
9	町田市立堺中学校２年生（2 名）
12	町田の丘学園２年生（1 名）
1	町田市立山崎中学校２年生（1 名）
2	町田の丘学園１年生（2 名）

（２） 教育実習（福祉科、保育科実習生）

月	実習受入れ先
６	町田保育福祉専門学校３年生（２名）
６	洗足こども短期大学２年生（２名）
７	洗足こども短期大学２年生（２名）
10	洗足こども短期大学２年生（２名）
３	鶴見短期大学（３名）

（３） ボランティア

- なし

◇3-9 地域交流

（１） 地域貢献活動

- 地域住民の方が工芸館前を通られた時は、笑顔で挨拶をしました。
- 施設回り、地域の方が通行する道などを毎月行いました。改修工事期間中は清掃は中止しました。

（２） 祭り

- ８月に行われたる町内会の夏まつりに参加しました。

◇3-10 保護者会

４、９、３ 月に開催しました。法人からの情報、日頃の施設の活動や取組みを報告しました。

2024 年度 こころみ事業報告

施設長　細川 哲郎

はじめに

ここ数年 10 代～20 代のご利用者の契約が定期的にあり、こころみ全体としての体力は上がっているように感じます。50 代のご利用者と 10 代の利用者が一緒に作業することで、お互いに刺激し合い、よい効果が生まれています。12 月末で、4 年通ってくれた唯一の女性利用者が退所となり、久しぶりに男性のみとなりました。同時期に職員 1 名の退職、また 3 月末での職員の異動もあり、別れの多い後期になりましたが、新たな職員の活躍もあって混乱なく 1 年を終えることが出来ました。

前年度まで感染対策に追われていた新型コロナウイルスをはじめとした感染症も 2024 年度は目立った感染はなく、長期欠勤も少なかったことからご利用者の出勤率が上がっています。

前期に重点的に行ったクヌギやナラの木を枯らす害虫対策は、クリアファイルを加工して作った害虫トラップを複数作成し、害虫発生期間中は常に見回りを行うなど、ご利用者とともに自然を守る活動を行いました。“木が枯れると日影が無くなり榾木に悪影響となる”という分かり易い影響がご利用者にも伝わり、木々の大切さを感じてもらうことができました。

原木しいたけの作業においては、春から井戸水が出なくなった影響で今まで行ってきた榾木の浸水作業の方法を変えるなど、節水を意識して榾木の管理方法を大きく変更しました。利用者へも事情を丁寧に説明し、結果として新たな方法で問題なく対応することができました。

利用者の作業目標達成に向けたアプローチとして、目標としている作業に取り組む前に自分で作った目標の書いたカードをテーブルに用意して取り組むことで、利用者本人はもちろん、職員も目標達成に向けた支援をしやすくなりました。生活面では、クレヨンを含めたショートステイを利用するご利用者が増え、日々のご利用者同士の会話の中でもショートステイが楽しかったと話す人が増えました。保護者からの問い合わせなども増えていることから、職員側も GH 選びのアドバイスや、契約までの手続き等、知識を今まで以上に得ておく必要があると感じた 1 年でした。

1 施設経営状況報告

◇1-1 利用者数、出勤率（入退所の情報）

現員　19 名　　平均出勤率　92.7%（前年度 89.9%）

入所者 1 名　退所者 1 名

※ 4 月に町田の丘学園からの新卒入所が 1 名ありました。

※ 12 月末でご利用者 1 名が GH 転居のため退所となりました。

◇1-2 職員数、有休消化率

職員数　　8 名〈常勤換算：6.3〉

有期専従　3 名（職業指導員 2、送迎ドライバー 1）

※ その他として送迎添乗業務をシルバー人材センターへ依頼しています。

有休消化率　37.4%（前年度 47.3%）

◇1-3 就労会計

就労事業	2024決算	2023決算	増加率
しいたけ事業	¥1,625,128	¥1,993,081	81.5%
野菜事業	¥1,375,572	¥1,246,588	110.3%
請負事業収入	¥1,173,855	¥968,705	121.2%
その他の事業	¥38,863	¥35,091	110.7%
合計	¥4,213,418	¥4,243,465	99.3%

※ 前年比 -30,047 円

※ 購入できる原木の数が年々減っているため、しいたけの売上が減少傾向です。

※ 請負事業は、ブックオフからの依頼が少しずつ増えたため昨年より多くなっています。

◇1－4 工賃実績

工賃　　1 日 500 円（前年度と同額）

工賃支払　2,349,000 円（昨年度：2,361,750 円）　昨年比：99.5%

夏季手当：1,500 円　／　冬季手当：2,000 円

平均工賃　9,996 円（昨年度：10,359 円）

※ 基本報酬の算定に関わる平均利用者数割の金額は 10,639 円です。

※ 後期に長期入院から退所となった利用者があったこと、夏季・冬季の手当の減額の影響から平均工賃は昨年度から減少しています。

◇1-5 給付収入、委託収入（実績ベース）

＜訓練等給付費収入＞

月	2024 年度	2023 年度	増加率
4 月	¥3,693,652	¥3,118,722	118.4%
5 月	¥3,669,169	¥3,052,477	120.2%
6 月	¥3,460,185	¥2,815,751	122.9%
7 月	¥3,574,685	¥3,068,723	116.5%
8 月	¥3,643,931	¥3,455,368	105.5%
9 月	¥3,191,698	¥2,998,484	106.4%
10 月	¥3,468,542	¥3,193,911	108.6%
11 月	¥3,175,030	¥2,942,038	107.9%
12 月	¥2,970,372	¥2,985,000	99.5%
1 月	¥3,143,882	¥2,854,570	110.1%
2 月	¥2,963,537	¥2,880,875	102.9%
3 月	¥3,101,321	¥2,953,199	105.0%
合計	¥40,056,004	¥36,319,118	110.3%

※ 前年比 ＋3,736,886 円

※ 新入所者があったことと、全体の出勤率の向上により給付費収入が上がっています。

＜町田市こころみ事業補助金（原木購入）＞

・町田市からの原木購入補助として 643,000 円を受領しました。（前年度 803,000 円）

・施設の自己負担金を含めて 2200 本の原木を購入しました。（前年度 3100 本）原木価格、運送費等の値上げにより購入本数を 900 本減らしています。

→原木の種類はクヌギ、コナラ、ミズナラで、産地は埼玉県秩父市からが 1000 本、山梨県都留市からが 1200 本です。

→前年度同様に、東京都の林産物生産支援事業を活用するため、東京都椎茸生産組合連合会を通じて原木を購入しています。100 円弱割引された価格となっています。

＜町田市補助金（日中活動系サービス推進事業補助金）＞

・日中活動系サービス推進事業補助金として合計 5,335,000 円（昨年度：5,284,000 円）を受領しました。

▷基本補助として　4,029,000 円（昨年度：3,978,000 円）

▷障害者等雇用加算として　1,306,000 円（昨年度同額）

◇1-6 修繕実績

・外水道の温水蛇口の増設

→外水道の温水蛇口を 1 口から 2 口へ増設工事をしました。

・カッパ置き場の改修

→利用者のカッパ置き場の場所移動に伴い、新たに作り直して防雨性を向上させました。

・2 階トイレ、1 階キッチン換気扇交換

→動かなくなっていた換気扇 2 か所を町田市の工事として実施してもらいました。

・1 階ウッドデッキ交換

→腐って立入禁止としていたウッドデッキを撤去し、新たなウッドデッキを設置してもらいました。

・樹木粉砕機の修理

→経年劣化から、ゴム製のローターベルトが断裂してしまったため、部品交換と各種メンテナンス、オイル交換を行いました。

◇1-7 助成金

・特になし

◇1-8 固定資産になる物品等

・特になし

２重点項目に関する報告

◇2-1 事業計画に設定した項目の進捗を報告

2-1-1　継続的な山森を守る活動の開始

・ナラ枯れの広がりを食い止めるため、対象害虫を捉えるカシナガトラップを作成し、敷地内の大きなクヌギの木 9 本に設置、害虫の発生時期である春から夏にかけて 2 週間に 1 度利用者と共にトラップの掃除を行いました。9 月末までの間に対象害虫の目立った侵入穴や木クズなどが無かったことから、新たな木への感染は防げたものと思われます。

・クヌギの苗木を作るため、春収穫のドングリの発芽を試みましたが上手くいきませんでした。秋のドングリで再チャレンジし 20 個ほどが発芽しました。現在苗木として育てています。日影を作る位の大きさになるには 10 年前後かかる見込みですが、環境の保護として継続して取り組むものです。

2-1-2　菌床栽培の改革推進

・今まで乾燥できなかった小さなキクラゲを、網目の細かい農業用ネットを使用することで乾燥できるようにし、調理の手間が省ける極小品として販売するようにしました。

・夏期の菌床キクラゲ終了後、秋に別の菌床栽培を試せるかを検討しましたが、ハウス面積が小さい事と、30 度以上の高温期が長引いた影響で栽培適温期間が短く、今年度の実施は見送りました。

2-1-3　規格外品で作る利用者向けの特別昼食

・7/18 の昼食時に、こころみの菌床キクラゲの規格外品を使って酸辣湯（サンラータン）を作って提供しました。キクラゲのおすすめ料理のひとつとして味わっていただきました。

・2/18 に、防災食の試食訓練も兼ねて特別給食の日としました。備蓄食の試食とともに、こころみの原木しいたけを使った、椎茸と豚肉のうま煮、椎茸のミネストローネを作り提供しました。

2-1-4　職員の研修意識と利用者の作業意識の向上

・利用者それぞれの目標について、前期は注意事項を中心に視覚的な表示を増やしました。上履きで外へ出ないようにしましょう、ゴミを捨てましょう等。

・後期は、具体的な作業目標を立てているご利用者に対して、それぞれの目標をカードにして自分の作業テーブルの前に用意してもらうようにしました。職員も目標を意識した声掛けがしやすくなるなど、良い効果が出ています。

・職員の研修は、参加しやすい法人内研修を活用しました。外部研修の参加が少なめだったため次年度は活発な参加を促していきます。

2-1-5　こころみの観光化への取り組み

・保護者会からの協力を得て、こころみ敷地内にテーブル付きのベンチの設置を進めました。ベンチを置くための整地や敷石の設置などを利用者と共に行い、自動販売機周りに３ヶ所の設置を終えています。休み時間の利用者の休憩場所としても活用しています。

・こころみへ繋がる遊歩道について、長年の雨等で土が削られ段差が出来てしまっていた箇所に砕石を敷き、段差を埋めて道幅を広げました。

３その他の報告

◇3-1 就労（作業）

3-1-1 原木しいたけ作業

〇長年原木しいたけの発生作業に使用してきた井戸水が出なくなってしまった事で、上水の使用を余儀なくされました。いかに節水して浸水ができるか、水は何日使いまわせるか、水が残ったまま榾木を並べて沈める方法などを検討し、利用者にも分かりやすい新たな浸水方法を試行錯誤し、品質に影響がないかを日々検証しています。

〇菌メーカーのアドバイスを受け、植菌原木の伏せ込み方法、散水頻度を見直すことで、節水と作業の負担軽減に繋げました。

〇町田市農業振興課の里山（上小山田）の間伐イベントで切り倒したナラの木を頂くことができました。約 200 本を原木として植菌することができました。町田産の原木として管理していく予定です。また、ダリア園内の間伐材約 100 本も原木として植菌しています。

〇かがやきからの依頼を受け、ダリア園の裏山の落ち葉掃除をこころみの利用者と共に手伝いました。回収した落ち葉はこころみの榾場整備の資源として活用しました。

〇夏期の気温と乾燥具合によって、キクラゲ菌床への散水量とタイミングに変化をつける等、品質と節水のバランスを考えて対策しました。

3-1-2 請負作業

〇CD/DVD 作業のトラックへの積み込み・積み下ろし作業を、その都度ではなく１回で行うようにし、配置・整列に係る時間を大幅に削減することができました。

〇ブックオフ作業で使用する資材等の置き場所を改善し、なるべく利用者自身で準備と片付けができるように工夫しました。

〇個別支援計画に、細かい分別や袋詰めなどの仕上がりに関わる目標を立てている人について、常に目標を意識して作業ができるよう作業目標カードを作り、作業テーブルに置くようにしました。

3-1-3 その他

〇ご利用者の施設間交流の活性化のため、大賀藕絲館の紅花摘み作業を体験しにいきました。また、かがやきのご利用者の一部に原木しいたけの植菌体験をしてもらいました。

◇3-2 余暇活動（行事）

〇４月（町田リス園）、５月（竹ーガーデンバーベキュー）６月（相模原パークレーンズ）、７月（伝統の七夕とカワッペリ商店）、８月（こころみ夏祭り）、９月（かがやきまつり参加）、10 月（こころみ運動会）、11 月（ひなた村焚火体験）、12 月（クリスマス会）、１月（新年会）、３月（バレンタインチョコ交換）

〇12 月に一泊旅行（渋川伊香保（群馬））を行いました。１日目はこんにゃくパーク、２日目は伊香保グリーン牧場と水沢うどん、宿泊は“如心の里ひびき野”に泊まりました。初めて一泊旅行に行く職員、利用者もおり、良い経験となりました。

〇毎月の月末には、誕生日を迎えるご利用者の食べたいものを選んで皆で食べる誕生会（月末木曜日）を実施しました。

◇3-3 委員会の報告

（１）防災委員会

・９月 19 日（木）に火災想定での避難訓練に加え、忠生消防署に協力をいただき、救命救急の講習を行いました。利用者職員含め、心臓マッサージ、AED の使用方法等を学びました。

・２月 18 日（火）に外作業時における火災想定での避難訓練を行いました。また、併せて防災備蓄品の入れ替えに伴い、防災食の試食体験（ドライカレー、パン）をおこないました。

・毎日の火元の確認や、戸締りのチェックは防災自主点検シートに記録しています。

・業務委託業者による消防設備点検を年に２回行っています。結果報告書を消防署へ提出しています。

（２）送迎委員会

・現在９名が送迎を利用しています。内１名は藕絲館のご利用者で、帰りの送迎のみ利用しています。また、１名は藕絲館の送迎車とこころみの送迎車を併用（途中乗り換え）して利用しています。

・送迎の添乗業務は、シルバー人材センター2 名に依頼しています。

・送迎ドライバー、添乗員のマスク着用は緩和していますが、送迎車内の消毒・清掃は継続して行っています。

（３）給食委員会

・㈱フレッシュランチのお弁当を１食 430 円で提供しています。

・ご利用者の希望を取り入れて、毎週１回麺メニューの日を設けています。
・前期に菌床キクラゲ、後期に原木しいたけを使った料理をご利用者の昼食として提供する機会を作りました。

（４）広報委員会

・法人広報誌「がっしゅうこく」及び後援会用の広報誌について、４月末発行（１６号）、８月末発行（１７号）、12 月末発行（18号）の掲載記事の作成を行いました。ご利用者、保護者、その他関係者へ配布しています。
・頻度は多くありませんでしたが、SNS（Instagram）への投稿も行いました。

（５）保健衛生委員会

・毎月第一水曜日に血圧、体重測定を実施し記録を残しています。
・8/2（金）鶴川記念病院に依頼し、かがやきと合同で利用者の集団健康診断を行いました。受診者は 17名で、昨年度より２名増えています。
・利用者帰宅後、手の触れる場所やテーブル等の毎日アルコール消毒を継続しています。
・新型コロナウイルス感染症の感染者は５名（内職員３名）でした。発症期間が近いため施設内での感染と思われます。罹患者は、入院や後遺症の残る方はおらず、規定の療養期間内で回復しています。後期、インフルエンザ罹患者は２名（内職員１名）でした。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
新型コロナ				５名		
	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
インフル		１名		１名		

（６）虐待防止委員会

・８月にこころみ内部での虐待防止委員会（正職４名）を開催しました。虐待防止研修の受講予定、現在の利用者の雰囲気、職員の関わり方などを話し合いました。
・職員向けの人権チェックリストを配布し、自分自身と職場全体の人権意識の振り返りの機会としました。引き続き毎年実施していきます。

◇3-4 職員研修（研修実績）

＜外部研修・法人内研修＞

日時	研修内容	主催	参加人数
4/26	楽ワザ介護技術研修（１回目）	まちだ育成会	１名
5/13	楽ワザ介護技術研修（２回目）	まちだ育成会	１名
7/29	≪法人虐待防止研修≫ アンガーマネジメント入門講座	まちだ育成会	３名
9/3	社会福祉従事者人権研修【Ⅰ】	東京都福祉保健局	１名
11/1	ライフステージと機能低下	まちだ育成会	３名
2/15	高次脳機能障がいのある人への支援	まちだ育成会	２名
1/27	地域の多様な主体から見た地域活動における社会福祉法人の期待	東京都社会福祉協議会	１名

※ 上記以外に、オンライン研修「スペシャルラーニング」の受講を職員に促しています。
※ 法人虐待防止研修に不参加の職員は、当日資料を基に参加者から研修を受けています。また、送迎ドライバーは虐待防止に関する内容のオンライン研修（スペシャルラーニング）を受講しています。

＜その他＞

日時	研修内容	参加人数
10/11	視察研修 さんわーくかぐや	１名
12/9～12/11	法人内施設間実習（職員） にじ → こころみ	１名
2/14	法人事例検討会	４名

◇3-5 会議の開催状況

〇職員会議

毎月最終火曜日に開催し、情報共有と課題、今後の予定等について話し合っています。また、毎月かがやきの職員会議にも出席し、職員同士の交流と情報交換を行っています。

〇こころみケース会議

８月～９月に個別支援計画のモニタリング（中間点検）を行う会議、２月～３月で年度総括を行う会議を行いました。目標に対するアプローチ、支援した結果などを話し合い、個々のケースの情報を共有し、次の課題を洗い出しています。

〇かがやきケース会議

かがやきのケース会議に参加し、沢山の職員の意見を聞くことで、考え方のヒントや支援のアイデアなどを持ち帰るようにしました。８月と３月にはこころみからのケースを議題とし、参考意見を基に支援に活かしました。

〇生産担当者会議

専従職員を交えて椎茸作業の予定、進捗状況の確認を行う会議を隔週で行っています。作業方針や疑問点の確認、長期での作業予定を担当者全員で共有するようにしています。

〇利用者会議（しいたけ山の会）

毎月１回、第２金曜日に利用者全員で意見交換等を行う会議を開いています。あじさいの会からの報告や議題検討、こころみへの意見や行事の要望や感想などを聞き取りしています。また、法人の利用者全体会議（あじさいの会）への参加と、あじさいの会からの企画である利用者の永年勤続表彰として、今年度勤続 10 年以上となる利用者 1 名に記念品を贈呈しました。

◇3-6 リスクマネジメント（ヒヤリ、事故）

＜報告件数＞

ヒヤリハット	アクシデント	事故
５件	１１件	３件

（1）ヒヤリハット

- 施設内の危険個所の発見と修正　２件
- 利用者作業中の怪我の恐れ　２件
- 施設敷地内の野生動物への注意喚起

　→敷地内遊歩道の木の上にカラスが巣を作り、通行者へ威嚇行動をとることがあったため、注意を促す看板を設置。

（2）アクシデント

- 利用者の作業中の軽い怪我（絆創膏処置、アイシング）　８件
- 利用者同士のトラブル　２件
- 利用者の通勤途中での怪我　１件

（３）事故

・ご利用者の怪我等

▷利用者が作業の切り替えの移動時、１階の医務室のドアガラスを左手のこぶしで叩き割ってしまう。手の甲、指数本に複数の軽い切り傷、絆創膏貼付で処置。保護者に報告し、ガラス修理分の負担をいただいた。

▷こころみ解散後、自転車で通院先の病院へ向かう途中、信号のない交差点で車と衝突し救急車で病院へ搬送される。複数個所の骨折で長期入院となっている。

・職員の怪我

▷施設内の階段で転倒、階段の角で顎に裂傷。通院治療を要する労災事故。

◇3-7 苦情解決

（１）苦情受付

・利用者の通勤途中（バス内）でのトラブル

▶帰りのバスで一緒になる町田リス園のご利用者に対して席を横取りする、声をかけるなどの迷惑行為が何度かあり、リス園より連絡が入る。

▷後日管理者と一緒に謝罪に行き、“人”ではなく“バスの席”にこだわりがある事を説明、直接ご本人と話し謝罪することで和解。

・大雨で砂利が隣の畑に流れるトラブル

▶大雨の際、こころみ側から隣の畑に雨水とともに砂利が流れてしまったことで対策をしてほしいと畑の持ち主より依頼を受ける。

▷砂利が流れ出る斜面（こころみと畑の境界部分）にブロックを二重に配置し、直接砂利が畑に流れ込まないようにした。

◇3-8 実習生、ボランティア（実績報告）

〇10/21～10/25　　町田の丘学園３年生　１名

〇11/20～11/22　　薬師中学校２年生　　１名

〇1/22　　町田の丘学園１年生　１名

※ ボランティアの受け入れはありませんでした。

◇3-9 地域交流（祭り、講習会、など）

〇近隣自治会とのイベントである“こころみ夏祭り”を 8/24 に開催しました。4 種の激辛スパイスや、焼きそばの味付けを変えるなど変化を付けています。例年にない気温の高さもあり、テントや日よけシェードで日影スペースを拡大するなどの工夫を講じました。

〇毎月 1 回の地元自治会を対象に資源回収を行いました。

〇近隣自治会の方からのしいたけの注文については、自宅まで配達しています。

◇3-10 家族会、保護者会

〇偶数月の第 2 火曜日に保護者会を開催しました。今年度は年度計画通りの偶数月に開催することが出来ました。保護者同士の交流の機会であると共に、施設や法人からの各種報告、保護者の皆様からの意見や要望の聞き取りをしています。

〇保護者会の会費より、夏場 6 月～9 月の間、月に１度ご利用者にジュース又はアイスの提供をいただきました。ご利用者皆の意見で、工賃支給日に食べる事にしました。また、12 月の旅行では旅館での夕食宴会での利用者分の飲み物代を支援していただきました。

○4 月～5 月にかけ、個別支援計画の保護者面談を行いました。来所することが出来ない事情のある保護者については、電話での説明、家庭の様子の聞き取りを行いました。

2024 年度　かがやき事業報告

施設長　小木曽　文典

今年度は 3 名のご利用者が入所されました。内 1 名は大賀藕絲館からの異動で来られたご利用者ですが、藕絲館ではご家庭の都合で思うように通所が出来ていませんでしたが、ご自宅がかがやきから近いという事もあり、休まずに通所されています。出勤率は全体を見ると昨年より微増となっていますが、生活介護では微減となりました。ご利用者が楽しく通えるよう各々の課題を整理していきます。

ダリア園は、酷暑の為花が育たず８月１日より９月３０日までの期間、再入園措置を行いました。来園者数も減少し前年度比▲１８１５名となってしまいました。

新しい取り組みとして、デイサービスを行っている NPO 法人が、月に１度子ども食堂を開催しています。野菜も高騰している中でその NPO 法人に畑を貸し野菜を育てていただきました。暑さや忙しさの為、続く事はありませんでしたが、子供食堂のある日は、かがやきのお花も委託販売をしていただき少しでもかがやきの事を知っていただく機会と関係性を途絶えさせることはしませんでした。

町田市議会議員のパラスポーツ部と一緒にボッチャを２回目行いました。１回目は夕方だったため、職員と市議会議員さんと真剣対決をしています。２回目は、土曜日活動に参加していただき、利用者の中に議員さんに交じっていただきながら交流を持つことが出来ました。

今年度は法人送迎委員手動で、送迎運転手の高齢ドライバー講習を１名が受講しています。受講することにより判断力の低下など自分では気が付いていないところなどを指導していただく事が出来ました。しかしながら、別の運転手ですがポールに車を擦ってしまう事故などが発生してしまったため、送迎運転手に限らず、運転する職員すべてがより一層気を付けて運転をしなくてはならないと痛感をしました。

１．施設経営状況報告

◇1-1 利用者数、出勤率

４月　３名入所（内、まちだの丘学園卒業生２名。町田市大賀藕絲館より異動１名）

在籍者数　　79 名（生活介護事業　29 名　・　就労継続支援Ｂ型　49 名）

出勤率　　87.7%（生活介護事業　82.4%　・　就労継続支援Ｂ型　92.9%）

※2024 年度出勤率　87.3%（生活介護事業　83.2%　・　就労継続支援Ｂ型　91.4%）

◇1-2 職員数、有休取得率

職員数　48名（支援職　常勤換算　あい 12.5　　きぼう　8.0）

１名休職中　2024.7.1～2025.6.30

離職率　11.8%（6名）

有休消化率　65.2%

（2024 年度上半期消化率　64.3%）

◇1-3 就労会計

就労事業	2024年度	2023年度
草　花　販　売　収　入	5,377,875	6,271,449
花　壇　管　理　収　入	3,596,000	3,556,860
売　店　事　業　収　入	2,686,627	2,459,833
請　負　事　業　収　入	168,860	201,610

ダリア園券売事業収入	5,068,080	5,970,428
その他の収入	1,765,820	1,950,721
合計	18,663,262	20,410,901

（昨年対比▲1,747,639 円）

◇1－4 工賃（数値目標）

14,032,500円　（昨年度　13,534,125円）

工賃　　昨年度と同様に支給しました。

本年度実績　　12,593,500円　　増・減　　＋544,375円

昨年度実績　　12,049,125円

賞与　　夏期賞与を支給しました。

本年度実績　　20,000円　　総額　1,439,000円

昨年度実績　　20,000円　　総額　1,485,000円

※きぼうの平均工賃　16,738 円　（昨年度　15,392 円）

◇1-5 給付収入、委託収入

月	日数	生活介護	就労継続支援B型	合計
4月	22日	8,213,137	8,593,810	16,806,947
5月	21日	7,347,165	7,951,995	15,299,160
6月	21日	7,528,745	7,930,794	15,459,539
7月	22日	8,174,934	8,505,534	16,680,468
8月	21日	7,782,448	7,617,492	15,399,940
9月	20日	7,548,043	7,777,210	15,325,253
10月	22日	8,138,824	8,511,118	16,649,942
11月	20日	8,204,569	7,984,383	16,188,952
12月	20日	7,638,211	7,589,416	15,227,627
1月	20日	7,691,332	7,661,075	15,352,407
2月	19日	7,276,247	7,321,584	14,597,831
3月	20日	7,923,985	7,684,201	15,608,186
合計	248日	93,467,640	95,128,612	188,596,252
昨年	249日	89,530,471	85,072,020	174,602,491

（昨年対比　+13,993,761）

◇1-6修繕実績（実績ベース）

農機具修理代　80，690円（ハンマーナイフ等8台修繕合計金額）

2階女子トイレドア　388，300円

ガス空調修理　75,119円

井戸ポンプ修理　1,628,000円

◇1-7助成金

木下財団（プロジェクター）　170,000円

◇1-8固定資産になる物品等

プロジェクター　172,480円

２．重点項目に関する報告

◇2-1　ご利用者が地域で活躍できる場を作ります。（地域貢献活動）

（１）　かがやき、ダリア園の敷地を広場化（パブリック性の強化）

かがやき祭りでは、600 名を超えるお客様に来園していただく事が出来ました。今年は、近隣小学校中心にチラシを配布し、その効果が得られた様に感じています。

また、行事だけでなくトイレ休憩のための団体の方等も遠慮なく使用していただく事が出来ました。

今年は七国山小学校との交流が少し増えました。七国山小学校４年生が施設見学に、また、１年生がどんぐり拾いに来ています。ダリア園の駐車場など子供たちの通学路になっています。朝、帰り際会えた時にはお互いに挨拶が出来たり、昨年卒業をした生徒とも立ち話が出来るようになりました。卒業式にも呼んでいただき更なる交流を目指します。

薬師池公園四季彩の杜の活動として、スタンプラリーに協力をさせていただきました。スタンプラリー目的のお客様も多く、次年度もスタンプラリーを継続することが決定したので、協力し、ダリア園を知ってもらう機会となりました。

（２）　作業や運動を通じて、地域の清掃活動を行います。

毎週月曜日（天候に応じて）、木花（ダリア園休憩所）のご利用者と職員が地域の防犯パトロールを兼ね清掃活動を行っています。活動中、近隣にお住いの方々からも声をかけていただいたり、こちらから挨拶をしたりと、良い関係が続いていると思います。

また、土日当番の職員も周辺を清掃しながら、地域住民とあいさつを交わすなど行っています。

◇2-2　働きがいのある職場づくり

新規採用職員も入職してきています。今まで当たり前と思ってきたことが、新職員から見た時、当たり前ではないことがあります。その感覚を大切にし、改善できるところから話し合いを設け、まずは、休憩時間をとれるように実行に移しました。また、職員が挑戦してみたいことは出来るだけ取り組んでもらい、働く意欲に繋げることにしました。

職員配置が少ない部門には、各部門から“応援をお願いします”“応援に行った方が良いね”と応援をしに行くことが当たり前となってきています。

労災が３件ありました。異なる時期に強度行動障害をお持ちの同じご利用者に、３名別々の職員が目のあたりを叩かれております。支援の方法などを今一度確認をし、ご利用者が過ごしやすい環境を作っていきます。（上半期報告）下半期では他害はありませんでした。

◇2-3　人権尊重と虐待防止の意識の徹底

身体拘束は行われておりません。ニュースになった虐待案件などはミーティングなどで周知し、意識付けを行っております。

◇2-4　四季彩の杜計画を見据えたダリア園のサービス向上

四季彩の杜協議会に参加をし、情報共有を行っております。酷暑の為、どこの場所も入園者数が大幅に減っており、ダリア園も入園者数が減ってしまった 2024 年度となりました。

入園者数は 12,447 名で昨年より▲1,815 名となっております。

ダリアも耐暑性のある品種を選び、花を咲かせることが今後の課題となっています。

★　町田産ダリア“名前を付けよう”

紅のドレス（ベニノドレス）

★　入園者数
12,447 名（昨年度 14,262 名）
★　ダリア園ガイドツアー
７月に２回実施。12 名（４名、８名）の参加がありました。
★　年間パスポート
６８名（昨年度１０１名）

◇2-6　こころみと連携を図れる施設運営の検討
ケース会議、職員会議など会議で情報交換をしています。健康診断やインフルエンザ予防接種も一緒にかがやきで行っております。

３その他報告の報告

◇3-1 就労

（１）室内部門
室内部門のご利用者の人数が徐々に増えていくなか、パッキン作業が無くなり、CD 分別作業を行うご利用者の割合がかなり大きくなっています。限られた職員数で、ご利用者がより安全かつ効率よく行えることを意識し作業提供しました。
これまでに例えば、ご利用者の特性を考慮し出来ることを出来るだけしていただき、席替えや作業行程の再確認、ご利用者の安全に動く事が出来るよう、個別の分別ボックスの作成などを行いました。
今後も作業環境の見直しを続け、達成感のある作業の提供を行っていきます。

（２）生活部門
毎回 50 名を超えるご利用者が参加をして下さっています。今年度は、ラーメン博物館が１番人気で、ご自分たちでメニューを選択し、“満足”という顔で帰ってきたことがとても印象に残っています。

４月	山ちゃん体操	50 名
５・６月	食育	64 名
７・８月	祭り制作	58 名
９月	山ちゃん体操	54 名
10・11・12 月	ラーメン博物館	65 名
１・２・３月	足湯	57 名

（３）栽培部門
１年を通して季節に応じた花の苗を育てたり、ダリア園開園時期の作業や落ち葉を集めての腐葉土作りに取り組むことが出来ました。ビーズ作業はご利用者の個性を活かした配色で職員と一緒に取り組み、徐々に質が良くなってきています。
また、かがやきで作った腐葉土を配合した手作りの花苗用の土作りを開始し、販売を始めました。虫の卵などが入っている場合がありますが、それを逆手に取り、無農薬で安全な土として花菜や木花で販売をし、良いペースで購入いただけています。
冬場は冷え込みに注意をしながら、夏場同様、外作業・室内作業の配置に考慮して作業を提

供しました。春の暖かい日には栽培部門全員でポットの土入れや鉢上げ等の花作りに参加が出来ています。
秋には夏の花作りとダリア開園時のお手伝いなど頑張って取り組んだ労いの場としてショッピングモールに外出し、各々好きな物を食べるという機会も作っています。とても嬉しそうなご利用者の笑顔が印象的でした。
次年度以降も、体力面や年齢層にあった作業提供、活動提供を行いながら、栽培部門にかかわるご利用者全員が一緒に取り組めることを模索していきます。

（４）資源活用部門
四季折々の作業を部門一体となって取り組むことにより仲間に対する思いも強まったように思います。充実した時間を過ごせた利用者の皆からは「また、明日来るね」と翌日を楽しみにしている様子をうかがう事が出来ました。
花壇管理時には、公園利用者の方々にも声をかけていただき、ささやかな交流を通してお互いに花壇を大切にする心が育まれてきたように感じます。

（５）販売部門（木花・花菜）
定期的に防犯パトロールと称してゴミ拾いを行っています。地域の方々と挨拶を交わし、時には“ありがとう”と声をかけていただく事がありました。ご利用者もとても嬉しそうな様子で、よし、次も頑張るぞ。というような顔つきで清掃に励んでいます。
ご利用者に、積極的に店頭に立っていただき、挨拶や、商品の袋入れ、レジ打ちを行っていただきました。当然失敗はありましたが、失敗に負けることなく、次は頑張ろう。と、意欲的にお客様と接していました。
お花も、出来るだけ販売できるように、売れ残りそうな花は値下げをして売り切る努力をさせていただいています。

（６）ダリア部門
酷暑によりダリアが成長せず、入園者数は昨年比▲1,815 名でした。
開園式には、１０名程度の保護者にも出席していただき、例年より多くの出席者のもと開園式を開催することが出来ました。
今年度は、ウイルスにかかった球根を徹底的に省く努力をしました。その為、残った球根は大幅に減ってしまいましたが次年度に繋がる大きな対策となったと思います。

2024 年度入園者数　7/1～11/5
総数 12,447 名（14,262 名）　※（　）内は昨年度数

6 月	394 名（0 名）	7 月	1,483 名（2,357 名）	8 月	252 名（342 名）
9 月	1,196 名（1,522 名）	10 月	7,972（8,726 名）	11 月	1,150 名（1,315 名）

ダリア園売上　5,068,080 円（昨年度 5,970,428 円　902,348 円減）

2024年	合計	一般	障がい者割引	団体	ＪＡＦその他	子ども	前売り券	市互助会	招待券入園	再入園	読売新聞招待券	育成会後援会	敬老入園	パスポート購入	パスポート再入園
6月	394	319	11	0	27	20	0	0	5	0	0	0	0	11	1
7月	1,483	784	90	50	362	56	0	1	25	0	0	0	0	43	72
8月	252	84	100	0	27	19	0	0	7	0	0	0	0	2	13
9月	1,196	657	60	28	152	125	0	0	10	41	0	1	68	6	48
10月	7,972	4374	524	100	2073	208	0	7	282	160	0	1	0	6	237
11月	1150	549	54	0	259	127	0	0	97	17	0	3	0	0	44
計	12,447	6,767	839	178	2,900	555	0	8	426	218	0	5	68	68	415

◇3-2 余暇活動

新しく活動を行う職員が１/３近くいましたが、先輩職員の助言の基、開園式、一泊旅行、かがやき祭りと３大行事を無事に行う事が出来ました。その中でも、次年度はダリア園４０周年開園式、事情があり一泊の旅行に参加でいない利用者、利用者の個性が発揮できる祭りと、様々な課題も感じることが出来ました。この課題を整理し、次年度へ向けて検討していきます。

◇3-3 委員会の報告

●衛生委員会

４月	衛生委員会とは	５月	メンタルヘルスケアについて
６月	熱中症・食中毒・感染症について	７月	健康診断書の見方・健康診断の事後措置について
８月	職場巡視	９月	生活習慣病に取り組もう　感染症について
10月	交通事故予防	11月	インフルエンザ予防接種
12月	職場巡視	１月	感染症予防について
２月	ハラスメント対策について	３月	１年の振返り

- 職員会議にて、衛生委員会の内容を周知し、施設環境改善の意見募り、改善や修繕等に反映させました。
- 今年度は熱中症もなく、また、感染症も蔓延することなく運営をすることが出来ました。

●送迎委員会

- ２ヶ月に１回開催し、送迎ドライバー、添乗員との情報共有を行い、改善点などあれば改善を行いスムースな運行を心掛けました。また、都度課題点がある場合や運転手、添乗員から意見があった場合、改善が必要な事に対しては、速やかに改善を行う事が出来ています。
- 送迎希望者には全員が乗車できるよう、法人送迎委員会と連携をして取り組むことが出来ています。

●給食委員会

- 毎月、委託業者（日清医療食品）の栄養士と情報交換等を行いました。
- ご利用者の状況に合わせ、個別対応食を提供しました。
- 今年度も選択メニューや、誕生日メニューを提供することが出来ました。特に誕生日メニューは誕生月のご利用者に好きなメニューをお聞きし提供出来ました。嬉しそうな笑顔が印象的です。

●保健衛生委員会

- 体重測定を毎月行い体重の変化に気を付けています。
- 引き続き訪問歯科での歯科治療を行っています。２５名のご利用者が登録をしています。内、１名はこころみのご利用者もかがやきにて治療を行う事が出来ています。
- インフルエンザ予防接種を行いました。52 名のご利用者が接種をしています。

●防災委員会

- 法人災害対策委員会で決定した個別避難計画を作成しました。それに伴い、緊急ポーチの確認も行っております。
- 年２回の防災訓練を行っています。

●美化、衛生委員会

- 整理整頓を行いました。危険が無いよう、ヒヤリハットが報告された場合は、すぐに環境整備を行うようにしました。

●研修委員会

日時	研修内容	主催者
随時	Speciallearning	
4/26	楽ワザ介護技術	まちだ育成会
5/13	楽ワザ介護技術	まちだ育成会
6/22	社会福祉士実習指導者養成講習会	アルファ医療福祉専門学校
7/26	切花ダリアの動向と 2024 年度今後に期待すること	日本ダリア会
7/29	虐待防止研修	まちだ育成会
8/9	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都福祉保健財団
8/12	てんかん基礎講座	日本てんかん協会
8/17・18	サービス管理責任者基礎研修	東京都福祉保健財団
8/22	虐待防止研修	東京都福祉保健財団
10/3	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都福祉保健財団
11/13	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	東京都福祉保健財団
12/2～4	新任研修	まちだ育成会
3/7	日本ダリア会総会	日本ダリア会

◇3-5 リスクマネジメント

事故	ヒヤリハット	合計
11 件	15 件	26 件

内訳

月	事故				ヒヤリ	合計
	他害	無断外出	転倒	その他		
4					1	1
5	1			1	1	3
6					1	1
7					2	2
8	3				4	7
9						0
10						0

11						0
12					2	2
1			3		2	5
2			2		1	3
3			1		1	2
計	4	0	6	1	15	26

１月～３月、外出先で小さな段差での転倒、階段を１段踏み外し転倒等、転倒が目立ちました。年齢の高いご利用者や重度のご利用者が転倒されている事から、見守り、声掛けや手添えが必要なご利用者には手添えを必ず行う等、強化しています。
ヒヤリハットや事故があった時には、夕方のミーティングにて報告し、対策を検討しました。

◇3-6 実習生、ボランティア

月	実習生受け入れ先
4	
5	
6	町田の丘学園３年生（１名） 薬師中学校支援級３年生（２名）
7	町田の丘学園３年生（１名） 町田の丘学園２年生インターンシップ（２名）×2 回 アルファ福祉専門学校（１名）
8	大妻女子大学（１名） フェリシア子ども短期大学（１名）
9	アルファ福祉専門学校（２名） フェリシア女子こども短期大学（１名） 町田の丘学園中等部１年生インターンシップ（24 名・３日間に分かれ）
10	町田の丘学園高等部３年生（１名）
11	法人内施設間実習（にじより１名） 職場体験実習（山崎中２年生１名）
1	職場体験実習（忠生中２年生１名、町田３中１名） アルファ福祉専門学校（１名）
2	町田の丘学園高等部１年生ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（３名） 和泉短期大学（１名）
3	鶴見短期大学実習（１名）

- 毎週木曜日、１名ボランティア

◇3-7 地域貢献、地域交流（祭り、講習会、など）

木花のご利用者が中心となり、地域の清掃活動を行いました。よく来てくださるお客様から声をかけて頂けたり、かがやき（ダリア園）の顔となる部門になってきています。
今年度は、七国山小学校４年生が施設見学に来ました。かがやきはどの様な施設なのかを説明しています。また、1 年生もどんぐりを拾いに来ており、朝登校時すれ違うと元気な挨拶をしてくれる生徒が増えました。卒業式にも呼んでいただき参列することが出来ました。

◇3-8 家族会

４，６，９．11．１．３月家族会に参加しました。法人からの情報や施設での情報をお伝えしました。

◇3-9 第三者評価

第三者評価を受審しました。

○　特に良いと思う点

- 法人の目指している方向性や大切にしている価値観等を職員に伝える取り組みが多くあります
- 事業計画において明確な数値目標を数多く掲げ、その進捗状況を定期的に振り返っています
- 利用者の自立に向けては、計画相談事業所「とびら」等関係機関との連携を図ったり、事業所内での話し合いを行うことで取り組んでいます

○　更なる改善が望まれる点

- 人事制度の見直しにより、キャリアパスと連動した法人の人材育成計画の策定や、評価制度の確立が期待されます
- 職員一人ひとりの個人別の育成（研修）計画の策定も課題の一つとなっています
- 昨年度は猛暑によりダリアの生育が鈍く集客が大幅に減り、関連する店等にも影響が出ており、今後は１年を通した集客が必要になります

2024 年度 にじ(共同生活援助) 事業報告

施設長　井上　武明

はじめに

2024 年度コロナウィルス感染症も落ち着き順調な出足かと思われましたが、上半期にレッド館で新型コロナウィルス感染症に罹患し入院されたご利用者がありました。他にもオレンジ館では急性腎盂腎炎で救急搬送され入院されるなど高齢も伴い疾病も多くなってきています。下半期には落ち着きを取り戻し、通所施設のイベントや旅行などにも参加し、週末の余暇活動としてガイドヘルパーを利用して様々な場所へ出かけられ、みんな笑顔で充実した生活を送れたと思います。

1 施設運営状況報告

◇ 1-1 利用者数

レッド館　　定員７名（現員７名：男性７名　女性０名）

オレンジ館　　定員９名（現員９名：男性６名　女性３名）　　2025.3.31 現在

◇ 1-2 職員数、離職率、有休取得率

職員数　12 名

施設長	１名
サービス管理責任者	１名
世話人	５名（常勤換算 4.2）
生活支援員	６名（常勤換算 3.2）

離職率　33%

職員採用　 11 月　２名

◇ 1-３給付費収入

	2024 年度			2023 年度		
	国保連	都加算	月合計	国保連	都加算	月合計
４月	3,110,139	978,174	4,088,313	3,378,180	901,854	4,280,034
５月	3,183,546	1,038,775	4,222,321	3,451,317	949,764	4,401,081
６月	3,170,708	980,023	4,150,731	3,436,542	903,546	4,340,088
７月	3,243,511	1,028,528	4,272,039	3,482,483	932,467	4,414,950
８月	3,213,665	1,048,553	4,262,218	3,484,593	930,618	4,415,211
９月	3,159,463	989,095	4,148,558	3,370,475	906,374	4,276,849
１０月	3,275,502	1,011,488	4,286,990	3,482,506	932,467	4,414,973
１１月	3,172,818	978,174	4,150,992	3,371,785	905,246	4,277,031
１２月	3,268,654	1,015,107	4,283,761	3,467,132	948,919	4,416,051
１月	3,229,231	1,032,105	4,261,336	3,451,644	950,900	4,402,544
２月	2,937,531	920,212	3,857,743	3,239,755	892,056	4,131,811
３月	3,338,770	1,024,631	4,363,401	3,445,688	927,130	4,372,818
合計	38,303,538	12,044,865	50,348,403	41,062,100	11,081,341	52,143,441

◇ 1-4 修繕実績　なし

◇ 1-5 助成金：該当なし

◇ 1-6 固定資産になる物品等：該当なし

２重点項目に関する報告

◇2-1 ご利用者の人権を尊重した支援

- 常に、ご利用者の声に耳を傾け、ご利用者の人権を守り、一人一人の生き方に合わせた（一人一人の希望に沿った）、生きがいを感じて頂ける支援を心がけ行いました。又、日中通所施設で一生懸命働き、活動をされ帰って来た時にゆっくりくつろげる場所、興味ある事に取り組める場所の運営を行いました。
- 虐待や身体拘束が無い、笑顔があふれる暮らしの場を作りました。

◇2-2　生活面における支援

- ご利用者の夢や希望が叶えられるようご本人やご家族と話し合いを重ね、わかりやすい個別支援計画を作成しました。
- 日中活動施設との連携を深め、充実した支援が出来るよう情報の共有を図ります。昨年度に引き続き支援会議「GH 情報交換会」を行い個別支援計画に反映させております。
- ご利用者の休日の過ごし方が充実するように要望を聞き取り、社会参加が出来るよう移動支援などを利用し外出等の充実を図る事が出来ました。

・健康管理を徹底し、様子の変化や体調の変化を見逃さず、素早く受診などの対応をしました。定期通院は確実に受診する事が出来ました。改善が見られない場合などは情報を集め転院をするなどの対応を取りました。上半期はレッド館で新型コロナウィルス感染症のクラスターが起きました。またその後もインフルエンザや感染性腸炎などの感染症にも罹患しましたが、経験から早期の対応で最小限に済ます事が出来ました。

◇2-3 職員の責務

・ご利用者本位のサービスを提供致しました。
・常にご利用者の個性を尊重し対話する事を心がけ話す時間を設けました。
・中期経営計画に基づき、次のユニットの増設に向け、職員の支援及び技術の向上を図っております。
・主要な職員は、両ユニットでの勤務を行い、職員会議は全職員で行い情報の共有や交流を図りました。
・２つのユニットが平等かつ同水準のサービスを提供することが出来ました。２つのユニットの連携により支援の充実を図り、主要な職員は両ユニットでの勤務を行い、情報の共有や交流を図ることが出来ました。特に申し送りノートや SNS を利用してご利用者の注意事項や事故やケガの速やかな情報伝達や、青年学級の変更やクレヨン対応の注意、トイレ詰まりの対処法まで昼夜休日を問わず、速やかな情報伝達や指示、アドバイスがされました。特に上半期は新型コロナウィルス感染症罹患の時も職員全員が情報共有して乗り切りました。
・誕生会や土用の丑の日などのイベントはユニットごとですが同じよう開催しました。

◇2-4　資源を無駄なく活用し、経費の節減、リユース、リサイクルにつなげます。

資源を無駄なく活用し、経費の節減、リユース、リサイクルを積極的に行いました。特に食品ロスをなくし節水、節電を行い経費の節約に努めました。また、日本キリスト教団南町田教会様より野菜の寄贈、㈱カーブスジャパン様よりフードドライブ活動の一環として食品を寄贈して頂きました。

分別を徹底しリユース、リサイクルに努めました。また、昨今の物価高騰、熱光熱費も大きく影響を受けました。節約も一段と注意はしましたが追いつかずご利用者の負担も増えました。

◇2-5「緊急一時保護事業」の実施：「緊急一時支援事業運営規程（育成会版）」

保護者の要望も高かった暮らしの不安を解消する一つの事業として、緊急時に一時的な受け入れ先として、オレンジ館内に１床設置しています。公的なサービスの利用がかなわないときや、特殊な事情がある場合など、ご家族の緊急時にお預かりするものです。日中活動施設の「日中一時支援事業運営規程（育成会版）」と暮らしの場の「緊急一時支援事業運営規程（育成会版）」により、両方の事業が協力することで、安心と安全、不安の解消に繋げています。2024 年度のご利用はありませんでした。

３その他の報告

◇ 3-1 利用者支援

余暇活動（行事）

	レッド館	オレンジ館
4月	誕生日会	
5月	誕生日会	誕生日会　BBQ 大会
7月	誕生日会 土用の丑日	土用の丑日
8月		誕生日会(24 日・27 日・30 日)
9月		誕生日会
10 月	避難訓練	誕生日会 避難訓練
	ユニット交流会（お楽しみ会音楽会）	
	衆議院選挙投票	
12 月	クリスマス会	クリスマス会 誕生日会(25 日)
1月	初詣 誕生日会(4 日)	初詣
2月	豆まき 誕生日会(23 日) 避難訓練	豆まき 誕生日会(14 日)
3月	ひな祭り	ひな祭り

〇青年学級への参加

・ひかり学級：４名参加　　・公民館学級：１参加名

〇余暇活動（移動支援の利用）

今年度もユニット交流お楽しみ会を開催しました。ご家族をご招待して午前中はゲームコーナーで楽しみ、昼食に手巻きおにぎりを各自作りワイワイと食べました。午後はウクレレ奏者の方をお招きし、歌ったり踊ったりお互い交流を深めました。

そして毎月全員が月に一回以上週末や祝日に移動支援を利用して、ガイドヘルパーさんと外出しています。

主な外出先　ロマンスカーミュージアム、ズーラシア、新江ノ島水族館、スーパー銭湯、相模川ふれあい科学館、築地、横浜中華街、横浜ラーメン博物館、立川ラーメンスクエア、こどもの国、カラオケ、アリオ橋本, 日中施設のお祭り、井の頭公園、高幡不動、映画館、箱根日帰り温泉、スヌーピーミュージアム、多摩動物園、藤子不二雄ミュージアム、図書館、小田原城、宮ケ瀬ダム、府中競馬場、昭和記念公園、ボーリング、高尾山、スカイツリー、深大寺、よみうりランド、町田市民プール、電車とバスの博物館、サンシャインシティー、町田市立国際版画美術館、桜祭り、釣堀、買物、レストランでランチ等

〇食事の提供

- ヨシケイから食材を調達して施設内で職員が調理し、安定した食事を提供しました。
- 休日の昼食はヨシケイで注文せずに、ご利用者と話し合いながら、お好みの昼食を提供しました。また、時にはスーパーやコンビニ、パン屋等で各自が食べたいお弁当やパンや飲み物を購入、自身で会計をして昼食を取りました。
- オレンジ館では桜の咲いた時庭にテーブルを出し花見をしながらランチを食べました。
- レッド館もオレンジ館も近所に出来た食堂にみんなで散歩をしながら出かけて行きランチを頂きました。
- ㈱カーブスジャパン様のフードドライブや南町田教会様の野菜の寄贈などの食材の寄付を頂き日々の食事に役立てることが出来ました。

〇健康管理

- バイタルチェック（血圧・体重）：毎週１回実施しました。
- 検温：毎日実施しました。
- 服薬支援（管理）：服薬ミスが無いよう慎重に管理しました。服薬カレンダーで２日分をセットし、毎回の処方を管理しています。落薬をしてしまう方には目視による服薬の確認も行いました。塗布薬や点鼻薬、点眼薬の介助を行いました。
- 通院支援：職員による通院同行を行いました。また移動支援による通院同行も行いました。
- 新型コロナウィルス感染症をはじめ感染症等に罹患したご利用者はいらっしゃいませんでした。

〇保健衛生

- 感染症対策として館内の消毒や帰宅時等、手指の消毒等の徹底を図りました。
- 定期的にシーツ洗濯をし、布団干しや乾燥機による布団乾燥を行いました。
- 月に１回、体重・血圧測定を行いました。
- 毎日入浴し、毎日各自洗濯されました。乾燥機も天候やアレルギーに応じて使用しています。
- 居室の清掃は各自が行いますが、職員と一緒に行ったり、行き届かないところは通所中などに職員が行いました。
- 季節の変わり目にはエアコン清掃を行いました。
- ご希望により各居室のエアコン清掃を専門業者に依頼しました。

〇金銭管理

- ご家族からお預かりしている金銭は各自のお財布とは別に保管管理し、日々のお小遣いなどの支出は記録（個人の出納帳の記入及び領収書）して、ご家族に報告しました。

〇その他

- 特に、保護者やご家族からの苦情はありませんでした。また、近隣との関係も良好でした。
- 人権に関する職員の啓発の取り組みとして、「人権の擁護、侵害と虐待防止チェックリスト」を用いて、人権や虐待の振り返り、未然の防止に活用しました。

◇3-2 職員研修

	研修名	参加人数
６月	法人内初任者研修	１名受講
７月	法人内研修　虐待防止研修アンガーマネジメント　阿部美樹雄講師	１名受講
12 月	健康推進財団　第４回障害者グループホーム従事者基礎研修	４名受講
２月	東京都手をつなぐ育成会　地域歩人協議会実践発表会	３名参加
２月	都福祉局障害者施策推進部　施設・事業所における障がい者虐待の防止と対応について	７名受講

3-3 職員会議

〇職員会議

毎月第４火曜日に開催しました。ご利用者個々の健康状況や通院情報、余暇の過ごし方や季節ごとの衣料や寝具などの注意点などを情報を共有し、支援に活かしました。

〇グループホーム情報交換会

ご利用者の通う施設の職員、とびらの職員、にじの職員、本部職員による、にじご利用者の個別支援計画の情報交換、ショートステイご利用者の支援の課題や改善点などについて話し合うと共に支援に反映しました。

◇3-4 リスクマネジメント

レッド館

	ヒヤリハット	アクシデント	事故
件数	０件	０件	１件

オレンジ館

	ヒヤリハット	アクシデント	事故
件数	１件	０件	０件

事故の１件は車両事故となります。敷地内で車両をぶつけへこませました。人身の怪我等はありません。

◇3-5 家族会

家族会としての会議は開催しませんでしたが 10 月にお楽しみ会としてご家族をご招待してレッド館とオレンジ館とご家族の交流を図りました。

◇3-6 地域交流

今年度は地域のイベントには参加できるものはありませんでした。

2024 年度短期入所（ショートステイ）
クレヨンレッド館・クレヨンオレンジ館　事業報告

施設長　井上　武明

はじめに

新型コロナウィルス感染症や感染性胃腸炎の影響を一部受けましたが昨年、一昨年に比べ順調に稼働する事が出来ました。グループホームのニーズの高まりと共に、将来に向けての体験的ショートステイの利用は常に多い反面、若い世代の家族レスパイトにおけるサービス利用も増えました。中期経営計画のグループホーム及びショートステイの新設に向け今後一層まちだ育成会が担う役割を明確にし、支援技術を向上していきたいと思います。

1 施設経営状況報告

◇1-1　利用者数・利用率

クレヨンレッド館（定員１名）　対前年比　121%

クレヨンオレンジ館（定員１名）対前年比　118%　　両施設合計　対前年比　120%

	2024 年度レッド館		2023 年度レッド館		2024 年度オレンジ館		2023 年度オレンジ館	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
４月	47	78.3%	30	50.0%	45	75.0%	40	66.7%
５月	50	80.6%	32	51.6%	30	48.4%	41	66.1%
６月	44	73.3%	27	45.0%	46	76.7%	33	55.0%
７月	44	71.0%	43	69.4%	48	77.4%	34	54.8%
８月	49	79.0%	36	58.1%	48	77.4%	40	64.5%
９月	47	78.3%	39	65.0%	40	66.7%	38	63.3%
10 月	46	74.2%	48	77.4%	49	79.0%	43	69.4%
11 月	48	80.0%	48	80.0%	50	83.3%	44	73.3%
12 月	48	77.4%	41	66.1%	46	74.2%	38	61.3%
１月	44	71.0%	27	43.5%	46	74.2%	28	61.0%
２月	42	75.0%	42	72.4%	45	82.0%	36	61.0%
3月	49	79.0%	50	80.6%	46	74.2%	44	71.0%
合計	558	76.4%	463	63.2%	539	73.8%	459	62.7%

※2024 年度レッド館・オレンジ館合計利用率 75.1%

※2023 年度レッド館・オレンジ館合計利用率 63.0%

◇1-2 職員数、離職率、有休取得率

（1）　職員数　　12 名（にじ兼務）　※短期採用者込み

施設長　　１名

サービス管理責任者　　１名

生活支援員　レッド館　　常勤換算 5.6　　オレンジ館　　常勤換算 5.6

離職率　40%

◇1-3　給付費収入

	2024 年度レッド館		2023 年度レッド館		2024 年度オレンジ館		2023 度オレンジ館	
	国保連	都加算	国保連	都加算	国保連	都加算	国保連	都加算
４月	281,171	105,421	163,080	72,214	220,223	102,549	194,401	95,515
５月	331,281	105,340	180,133	77,806	173,424	64,467	242,330	97,500
６月	304,079	89,965	152,504	56,117	257,104	103,062	170,302	81,096
７月	284,206	96,475	268,512	103,070	282,213	107,181	180,332	80,331
８月	342,735	100,412	221,856	77,082	276,656	105,191	203,774	93,768
９月	339,129	98,181	237,268	89,871	243,513	84,975	198,622	84,506
10 月	303,235	98,046	298,004	108,082	277,541	105,959	218,108	100,459
11 月	319,542	103,198	282,486	101,122	311,036	100,933	232,082	101,190
12 月	341,979	102,689	268,502	90,124	262,527	101,374	209,549	84,132
１月	341,562	92,952	179,620	63,561	284,831	103,560	153,437	64,689
２月	332,968	82,500	299,246	92,080	303,189	92,200	208,848	79,875
３月	369,616	100,430	324,759	109,912	306,762	100,243	273,608	97,565
合計	3,891,503	1,175,609	2,875,970	1,041,041	3,199,019	1,171,694	2,485,393	1,060,626
		5,067,112		3,917,011		4,370,713		3,546,019

クレヨンレッド館　　対前年比　129%　　クレヨンオレンジ館　対前年比　123%

２施設合計　￥9,437,825_　対前年比　126%

２重点項目に関する報告

◇2-1 ご利用者自身の生活する力や能力を発揮して頂き、生きがいが感じられるような生活を大切に支援致しました。その為に通所施設と連携し専用の情報提供シートを作り日中施設でどの様に過ごされているのか、クレヨンではどのように過ごしたいか、どのような目的での利用なのかも配慮して、例えば将来のグループホーム入所の体験のためなのか、ご家族のレスパイトのためなのか、また、ご利用者自身が家族と離れた時どのように過ごすか、テレビやDVDが見て過ごせるか、音楽を楽しむことが出来るか、ゲームをしたり出来るか、絵が描けるのか、ご自身で趣味をすることができるか、リビングで職員や他のご利用者と一緒に過ごせるのか、普段の生活と変わる事に抵抗がないかなどご本人や家族の情報も頂きながら落ち着いて宿泊できるように支援し、ご家族にもご報告いたしました。若い世代のニーズにお応えしWi-Fi環境も整え、スマホやタブレット等をご持参され楽しまれる方も増えました。また、にじのイベントに一緒に参加され、楽しまれた方もいらっしゃいました。

◇2-2 ご家族のニーズに応じ入浴やトイレや着替え、歯磨きの介助や見守りなどのサービスを提供しました。ご利用者のご家族もそれぞれの要望をもっていますのでニーズに対応しながらご利用者の声に耳を傾け人権やプライバシーを尊重し支援しました。

- 健康に配慮した食事の提供を行いました。
- 服薬や、軟膏の塗布など、健康管理を徹底しました。
- ご利用者の相談、要望を聞き、必要に応じて助言を行いました。
- 洗濯や洗濯物の片付けの支援を一緒に行いました。

◇2-3　感染症対策を行しっかり行い平均利用率は目標の70%を達成しました。

2024 年度 とびら(忠生地域障がい者支援センター)事業報告

センター長　宮城　加奈子

はじめに

忠生地域障がい者支援センターは、障害支援区分の更新が多い年度で、アポ取り、調査、事務処理に多くの時間を費やしました。近年、障がい福祉サービスを利用する方が増え、区分更新以外にも、新規相談や調査が増えています。地域連携会議を月１回程度開催しました。地域課題の抽出を中心に取り組みました。

とびらは障害支援区分の更新で受給者証が新しく作成するときに必要な計画案、本計画の作成が中心になり、モニタリング作成が追いつかないことがありました。

ひかり相談は、高次脳機能障害者支援促進事業の拠点をひかり療育園から移し、取り組みました。福祉講座や「in 町田」「No Problem脳損傷」といった外部に向けての取り組みを通し、高次脳機能障害の普及啓発に力を入れました。相談件数も増えています。

１忠生地域障がい者支援センター実績報告

◇1-1 利用者数

➢相談支援を利用している障がい者等の内訳（新規）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
身体障がい者	15	10	7	10	7	5	54
重症心身障がい	4	2	2	1	0	0	9
知的障がい	29	24	12	22	17	8	112
精神障がい	70	22	17	26	18	13	166
発達障がい	1	0	0	2	2	4	9
高次脳機能障がい	0	0	1	1	0	0	2
その他	2	1	5	0	0	0	8
合計	121	59	44	62	44	30	360
	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計
身体障がい者	8	6	3	4	5	7	87
重症心身障がい	3	0	0	1	0	0	13
知的障がい	20	14	12	11	7	8	184
精神障がい	15	8	12	14	13	13	241
発達障がい	0	0	1	3	1	0	14
高次脳機能障がい	0	0	0	0	0	0	2
その他	1	3	0	0	4	0	16
合計	47	31	28	33	30	28	557

➢支援方法（延べ数）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
訪　　問	44	25	16	30	42	26	183
来　　所	24	29	22	26	27	18	146
同　　行	4	9	8	4	3	5	33
電　　話	68	99	73	73	61	105	479
メ　ー　ル	0	0	0	0	2	1	3
個別支援会議	4	4	4	4	8	10	34
関係機関	59	53	40	50	62	51	315
そ　の　他	0	0	0	1	0	0	1
合　　計	203	219	163	188	205	216	1194
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪　　問	50	33	24	19	27	20	356
来　　所	20	18	19	31	20	19	273
同　　行	5	6	1	8	10	6	69
電　　話	162	81	146	87	73	68	1096
メ　ー　ル	0	0	1	0	0	1	5
個別支援会議	3	6	1	6	2	9	61
関係機関	79	42	60	62	70	68	696
そ　の　他	0	0	0	0	0	1	2
合　　計	319	186	252	213	202	192	2558

➢窓口における申請･お問合せ件数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
来　　所	137	140	101	197	252	117	944
電　　話	51	63	63	70	127	88	462
合　　計	188	203	164	267	379	205	1406
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来　　所	156	148	136	142	202	181	1909
電　　話	119	68	96	107	83	93	1028
合　　計	275	216	232	249	285	274	2937

◇1-2 職員数、離職率、有休取得率

管理者：１名

職員数：８名（常勤換算　5.7　※管理者除く）

離職率：０％

有休取得率：52.6%

◇1-3 給付収入、委託収入

障がい者支援センター（受託事業収益）	
４月	2,486,944 円
５月	2,486,944 円
６月	2,486,944 円
７月	2,486,944 円
８月	2,486,944 円
９月	2,486,943 円
10 月	2,486,944 円
11 月	2,486,944 円
12 月	2,486,943 円
１月	2,486,944 円
２月	2,486,944 円
３月	2,486,943 円
計	29,843,325 円

（2023 年度　30,066,720 円）

とびら（計画相談支援給付費収益）	
４月	165,161 円
５月	270,988 円
６月	212,246 円
７月	208,673 円
８月	143,858 円
９月	164,373 円
10 月	272,546 円
11 月	238,615 円
12 月	194,031 円
１月	253,213 円
２月	159,967 円
３月	386,067 円
計	2,669,738 円

（2023 年度　2,103,300 円）

ひかり相談（受託事業収益）	
4～6 月	1,025,500 円
7～9 月	1,025,500 円
10～12 月	1,025,500 円
1～3 月	1,025,500 円
計	4,102,000 円

※前年度まではひかり療育園にて受託

◇1-4 修繕実績

該当なし

◇1-5 助成金

該当なし

◇1-6 固定資産になる物品等

該当なし

２重点項目に関する報告

◇とびら

●地域生活支援拠点等としての役割

地域体制強化共同支援の報告書を１件提出。市に地域課題を報告した。

●計画相談支援事業の安定

相談支援専門員初任者研修１名受講。

◇忠生 SC

●地域連携会議の実施と課題抽出

凸凹ネットワーク（相談支援）：５月、10 月、１月

GH 凸凹ネットワーク（知的・身体）：７月、12 月

GH 凸凹ネットワーク（精神）：６月、11 月

😊（まんまる）ネットワーク：９月、３月

＊今年度はグランハートとの連携強化のため地域推進会議、勉強会に参加

（５月、８月、９月、10 月、２月）

地域課題の抽出
事業所の困りごと

●スキルアップと知識の共有

センター連絡会：月１回　午前（事務連絡）と午後に開催

センター長会議：月１回　連絡会等の企画

（研修については 3-1 で報告）

◇ひかり相談

これまで後方支援として高次脳機能障害者支援事業に関わっていましたが、今年度からはとびら・センターと並び、相談機関として取り組みました。

●高次脳機能障害の理解と相談スキルの向上

南多摩圏域協力支援機関連絡会（月１回）で症例検討をしました。医療機関からの助言もあり、専門的な学びになっています。

●高次脳機能障害支援事業の認知と促進

様々な会議体で、福祉講座等の広報活動をし、「ひかり相談」「高次脳機能障害」の認知、理解を深めました。

病院からの相談が増えました。適宜、各関係機関と連携して支援をしています。

３その他の報告

◇3-1 職員研修（研修実績）

開催日	内　容	開催機関
4/5	SC 意見交換	町田市
5/7	障害支援区分認定調査研修	東京都
6/3・17	補装具研修	東京都
6/7～8 月末（4 日間）	相談支援専門員現任研修（1 名）	東京都
6/21・10/1、	相談支援研修	町田市
7/25	住宅改修研修	町田市
7/29	虐待防止研修	法人
9/19	医療側から見る福祉サービスの利用の効果	町田市
9/26	権利擁護検討委員会	社協
９月～１１月	相談支援初任者研修（1 名）	東京都
10/4	子どもの薬物研修	都立松沢病院
11/1	ライフステージ（綿先生）	法人
11/5	にも包括研修	町田市
12/4・6・18	補装具研修	町田市
1/23	インテーク研修	町田市
3/5	精神科医療地域連携研修会	鶴が丘ガーデンホスピタル

◇3-2 事業所内会議の開催状況

（1）職員会議：月 1 回開催

（2）ケース会議：月 1 回開催

（3）窓口会議：月１回開催

（4）調査会議：月１回開催

- 月 1 回の会議を行なうことで、情報共有が図れていて、職員間の業務の進捗状況の確認ができています。
- 毎日朝夕でミーティングを行い、情報共有をしています。職員の情報の標準化が図れています。

◇3-3 リスクマネジメント（ヒヤリ、事故）

・自動車接触事故（ガードポールへの接触事故）

◇3-4 主なご意見

・

◇3-5 実習生、ボランティア（実績報告）

法人内実習 1 名

◇3-6 地域連携（会議、講習会、など）

開催日	内　容
6/21、1/24	町田市特定相談支援事業所連絡会
5/28、7/23、10/2、10/10、12/9、1/28	町田市相談支援部会 （他市区町村の見学含む）
5/30、10/4、1/27	忠生エリア凸凹ネットワーク
7/31、12/16	忠生エリア GH 凸凹ネットワーク（知的・身体）
6/25、11/28	忠生エリア GH 凸凹ネットワーク（精神）
9/6、3/10	忠生エリア😊ネットワーク
4/25、6/27、8/29、10/24 12/18、1/22 3/15	支え合いの町忠生（地域ケア推進会議）
6/13、9/9、1/20	地域の専門機関との情報交換会（忠生第一高齢者支援センター）
5/10、9/13、11/8	グランハート勉強会
8/27、10/23、2/19	地域丸ごと推進会議（グランハート）
9/13	高次脳機能障害圏域内連絡会
7/26、11/22、2/28	町田市高次脳機能障害関係機関等連絡会
12/11	高次脳機能障害支援員連絡会
7/2、11/5、2/4	地域生活支援拠点会議
5/24、8/26、2/14	忠生地区協議会

４ひかり相談（高次脳機能障害）実績報告

① 個別相談

電話、面談、訪問等での個別相談を実施します。

相談方法	電話	来所	訪問	カンファレンス
件数	54 件	10 件	３件	３件
相談者	本人	家族	関係機関	その他
件数	24 件	29 件	16 件	０件

② 高次脳機能障がい者のグルーピング運営、家族会のサポート

ひかりサロンを年13回実施します。高次脳機能障がい者と家族が集い、プログラムに参加し、リハビリや相談支援を行います。

日付	内容	当事者	家族	外部スタッフ
4月17日	話し合い、ゲーム、創作	1名	2名	
5月19日	創作（モルック作り）	5名	4名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
6月19日	音楽療法	8名	8名	音楽療法士(MT)
7月17日	音楽療法	5名	3名	音楽療法士（MT）
8月21日	音楽療法	6名	2名	音楽療法士（MT）
9月18日	話し合い、創作（展示物）	6名	3名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
10月16日	音楽療法	6名	3名	音楽療法士(MT)
11月20日	清掃活動・ゲーム	5名	2名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
12月4日	創作（クリスマスカード）	6名	4名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
12月21日	年末パーティー	5名	2名	
1月15日	書初め	5名	3名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
2月19日	創作（雪だるまリース）	3名	1名	多摩丘陵リハビリ病院（OT、ST）
3月19日	外出活動（南町田）	4名	0名	

③ 関係機関との連携

・南多摩高次脳機能障害支援普及事業協力施設連絡会（年12回）
　毎月第三火曜日　オンラインにて実施。宮城、水野が参加。

・町田市高次脳機能障がい関係機関等連絡会（年3回）
　7月 26 日（金）/11 月 22 日（金）/2 月 28 日（金）　いずれも 15：00～開催しました。

・専門職との連携
　多摩丘陵病院（OT、ST）、音楽療法士（MT）などと連携を図り、多角的な相談支援を行いました。
　6/12（水）　高次脳機能障がいでつながる「医療と福祉 in 町田」に参加し、ひかり相談の現状、町田市における高次脳機能障がい支援の取り組みについて、講演、実績報告を行ないました。
　11/24（日）「No　Problem（脳損傷）in 南多摩」に楽器演奏で出演しました。

④ 広報、普及啓発活動（年2回）

市民を対象に、高次脳機能障がいに関する講演会を実施。高次脳機能障がいの理解を深め、より適切な支援について学ぶ機会を提供しました。

10/22（日）「高次脳機能障害者とその家族の心のケア」
川崎市南部リハビリテーションセンター　在宅支援室　山口加代子先生
2/15（土）「高次脳機能障害がある方への支援～社会参加から介護者不在時の対応まで多様な課題を考える～」
神奈川リハビリテーション病院　総合相談室　瀧澤学室長

2024 年度　ひかり療育園事業報告

園長　小林　佳寿美

はじめに

今年度は町田の丘学園から１名の入所と新しい職員も２名入職しました。民間移譲して３年目になり、業務方法や支援方法の見直しを始めました。個別支援計画については誕生日月の更新にし、順次保護者面談を行いました。

活動については昨年度と同様回数の外出機会を設定しています。麻溝公園へピクニック、アリオ橋本への外出、行きたいレストランを選び予約をする、東京タワーへの外出など行き慣れた場所だけでなく、ご利用者が様々な体験をするという目的で外出活動を行いました。アリオ橋本では、焼き肉屋さんで食事をするグループがあり、ご利用者が『自分でお肉を焼いて食べる』という経験をし、楽しまれていました。

今年度は登録利用者数が４６名となりましたが、夏頃より体調不良による長期欠席のご利用者が増え、復帰できていない状況があります。重度の障がいがあるご利用者が登園する施設のため、医療やご家族、関係機関との連携をいち早く行う必要があると実感しました。

１施設経営状況報告

◇1-1 利用者数、出勤率

在籍者数　　44 名（生活介護事業　25 名）

退所者２名（7月１名　9月１名）、入所者２名（4月１名　６月１名）

登園率　72%

◇1-2 職員数、有休取得率

職員数　14名（常勤換算13.6）

２名入職（4月２名）　3名退職（4月1名　１月１名　3月１名）育児休暇中１名

有給取得率　33.6%

◇1-3 就労会計

該当なし

◇1－4 工賃（数値目標）

該当なし

◇1-5 給付収入、委託収入

	生活介護
給付費	65,453,076円
サービス推進費	9,496,000円
補助金	50,000,000円
合計	124,949,076円

◇1-6 修繕希望

◇1-7 助成金

２ 重点項目に関する報告

※失敗ができる職場（失敗＝賞賛）、リカバリーが出来る力（気が付いたら改善行動）、フォローできる繋がり（自分中心でなく他者目線）

◇2-1　活動プログラムの見直し

全体活動と少人数単位によるグループ活動を設定し、個別のニーズに合わせた活動を提供しました。パソコンに触れ、慣れる練習や ICT を使った活動を取り入れ、ご利用者自身の能力

を引き出す支援を行いました。また、室内活動だけではなく積極的に散歩や買い物に行き、支払いの練習やペットボトルのリサイクルにスーパーへ出かけました。

◇2-2　支援、介助スキルの向上

４月に介護アドバイザー青山幸広さんの介護技術研修を行いました。テコの原理を使った介助方法や負担が少ない身体の使い方、介助をされる側に不安を与えないような介助方法を職員が体験しました。ご利用者の介助に適した方法を現在実践しています。また、毎月 1 回、障がい児者サポートラボの田中先生による ICT 活動を取り入れ、パソコンに触れる、名刺を作る、スヌーズレン（感覚刺激を体験してリラックスできる活動）を行いました。今年度はご利用者が体験、経験するという活動を多く取り入れました。

◇2-3　送迎マイクロバス活用の検討

マイクロバスの費用対効果やメリット、デメリットを検討しています。上半期はご利用者の欠席が多くあり､ハイエースやマイクロバスの使用を 1 台減らしての運行日が増えています。送迎コースによっては軽自動車を使い、職員が送迎を行いました。送迎の変更、調整は送迎委員会が中心になり行っています。10 月から火曜日、木曜日のマイクロバス１台を正式に減便して送迎を行い、委託費用の削減を行いました。

4 月には送迎委託会社のドライバーが休日にひかりのご利用者を外出に連れ出し、ご利用者とグループホーム管理者から性的虐待を受けたと報告がありました。業務委託内容外の出来事であったため、ご利用者と当該ドライバーから状況確認を行った後、町田市に通報しました。町田市からは、虐待案件にはあたらないが委託会社には業務改善のための研修の実施と研修内容をひかり療育園に報告するようにと指導があり、委託会社から研修内容や業務についての報告がありました。

◇2-4　心身の健康維持、増進の充実

体調を崩されるご利用者が多くいました。引き続き医療との連携（整形外科、内科、精神科など）図り、早期発見、ご家庭と情報共有を行います。専門職員（PT、OT など）との連携により、ご利用者の持っている機能を活かした活動、支援を行いました。この先も在宅生活を続けると考えているご利用者については、身体機能を低下させないような個別メニューの運動を行っています。

◇2-5　チームワークを大切にする風土（全員活躍）

「不安な事、困った事などを話し合えるチーム」「助けて欲しい、困っていると言い合えるチーム」「サポートし合えるチーム」「多様な意見、アイディアを否定せず、意見を受け入れて行動できるチーム」を職員全員が意識できるように、２グループ体制で活動や支援を進めています。毎日の活動を考えるだけではなく、ご利用者の支援についてもグループ内で検討し、報告、実行する体制にしています。

◇2-6　町田市美術工芸館との連携

隣接する町田市美術工芸館、ひかり相談を担う忠生地域障がい者支援センター、ひかりの保護者会と協力し、忠生中央町内会と同日開催で夏祭りを行いました。保護者会が出店した豚汁は好評で完売でした。また、カラオケ大会では、美術工芸館のご利用者をはじめ、地域の子供達も参加され、楽しまれていました。

3 その他の報告

◇3-1　活動プログラム

上半期は季節を楽しむ活動を中心に行い、散歩や花を植える活動、グリーンカーテンを作るために、きゅうりやゴーヤの苗植えを行いました。実ったきゅうりをご利用者が収穫し、昼食時に提供しました。ご自分で収穫したものを喜んで食べていました。

その他の活動では全体外出のしおり作りやカレンダー作り、簡単な麻雀ゲーム、園芸（さつまいも掘りや肥料作りなど）を行いました。収穫したさつまいもはご利用者と調理をし、デザート喫茶で味わいました。

◇3-2　余暇活動

今年度も外出活動を多く取り入れています。５月には麻溝公園へピクニックに行き、公園でお弁当を食べ、散策を楽しみました。９ 月、１２月はアリオ橋本へ行き、初めて焼肉屋さんで食事をしたグループがありました。お肉を焼く経験が初めてのご利用者が多く、楽しまれていました。全体外出は東京タワーに行きました。２月はご利用者が行きたいレストランを選択（鎌倉パスタ、夢庵、びっくりドンキー）する、３月はご利用者が行きたい場所の選択（プラネタリウム、アリオ橋本）をしました。ご利用者の意思を表出できるように、レストランや場所の画像や動画を見せ、ご自身で選んでいただきました。

◇3-3　委員会の実施

委員会名	内容
虐待防止、危機管理委員会（法人）	ヒヤリ・アクシデント・事故の取りまとめ、分析。施設長へ提案・意見具申。 虐待防止の為の検討など支援現場の向上に努める。 人権チェックリストの作成、分析、苦情の相談窓口、対応。
研修委員会	研修の情報案内、報告書の取りまとめ、内部研修の準備、人財育成を意識した研修計画の立案
保健・医療委員会	新型コロナウィルス感染症対策・予防（手洗い・消毒）の徹底 体重測定、健康診断の取りまとめなど
美化委員会	掃除計画、備品の発注取りまとめ、備品管理、掃除道具確認、大掃除計画
魅力発信委員会（法人）	広報誌（がっしゅうかく）の発行、法人のインスタグラムへの投稿
災害対策委員会（法人）	防災訓練の計画、実施。防災備蓄の準備、管理。
苦情解決・人権擁護委員会	苦情解決の為の対応を検討、苦情事例の共有化を図る。
送迎委員会(2 か月に 1 回開催)(5 月に総会あり)(法人)	送迎時間、ルートの決定。運転手、添乗と連絡調整。車両の管理、維持。 運行日誌の月末締め、送迎利用者の利用状況のまとめ。
利用者自治会（法人）	ご利用者の意見を聞く場。法人設立２０周年についての話し合い
レスパイト	申請書の窓口、ご家庭との連絡調整。月予定の作成

◇3-4　会議の開催状況

会議名	会議の用途	開催頻度
職員会議	施設の最高決定機関（全体会議）	月１回（第２金曜日）
ケース会議	ご利用者の支援について多角的に検討する会議（全体会議）	月１回（第４金曜日）
行事担当	業務分担に準ずる。実施日を逆算して、準備、打ち合わせを行う。	必要に応じて開催
委員会	業務分担に準ずる。事業計画書の役割を実施するために、打ち合わせ、検討を行う。	必要に応じて開催 ２回は最低開催する

◇3-5 リスクマネジメント

ヒヤリハットや事故があった時には、夕方のミーティングにて報告し、対策を検討します。常に意識を持ち、危険を察知できるよう職員に意識付けを行います。その他作業室、倉庫内、備品等の整理整頓を定着させ、掃除をしっかり行い、働きやすい環境、転倒等が起きにくい環境作りを徹底します。

ご利用者のアセスメントを行い、事故等のリスクを想定し共有していきます。

	ヒヤリハット	事故（アクシデント）		ヒヤリハット	事故（アクシデント）
4月	７件	０件	１０月	２件	１件
５月	１件	１件	１１月	１件	６件
6月	３件	２件	１２月	３件	５件
7月	１件	０件	１月	２件	４件
8月	０件	２件	2月	２件	３件
9月	０件	４件	3月	０件	１件

（1）　ヒヤリハット

・入浴中止のお知らせ忘れ

・出前のそばの支払い忘れ

（2）　事故（アクシデント）

・鼻腔吸引に来ている藕絲館のご利用者がひかりの事務所内にあったホワイトボードの脚につまずき、転倒されました。右肩、右膝を打僕と前歯１本が欠けたため、ぐうし館施設長とにじの施設長に報告をしました。打撲部分に関しては、様子観察をし、欠けた歯は翌日訪問歯科を受診し、修復しました。事務所内はつまずきやすいものは置かないようにしました。

・送迎に関するアクシデント

→車椅子のベルト着用忘れ、車椅子のブレーキをかけ忘れ、朝の送迎の迎え忘れ（職員の勘違いや転記ミス）

・お弁当代の回収忘れや釣銭の紛失、外出時のお小遣いの確認忘れ

下半期はアクシデントが多く、転倒が主な原因でした。ご利用者の様子や介助方法（声をかけるタイミングやご利用者のペースなど）職員は慌てずに、丁寧な介助を心掛けるよう振り返りを行いました。

同じご利用者のお迎え忘れが続いたため、連絡を受けてからの確認方法を２人の職員で行うことでお迎え忘れはなくなりました。

◇3-6 実習生、ボランティア

町田の丘学園、野津田高校、大学インターシップ、職場体験学習等の実習を受け入れていきます。ボランティアなどを積極的受け入れていきます。敷居が低く、風通しのよい施設を目指します。

受け入れ先	人数/期間
町田の丘学園中学２年生	１名　5/30　（１日）
町田の丘学園高校３年生	１名　6/17～19　（３日間）
昭和女子大学	２名　6/3～12　（８日間） 6/10～14　（５日間）
町田の丘学園高校２年生	１名　7/8～12　（４日間）
〃	１名　11/11～15　（４日間）
町田の丘学園高校１年生	１名　1/22（１日）インターンシップ

◇3-7 地域貢献、地域交流（祭り、講習会、など）

近隣町内会等も懇談を行い、良好な関係構築をしていきます。施設貸し出しを継続し、地域に会議室などの資源を提供していきます。

月	貸出団体名	貸出日数
４月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、リアン、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会	９日間
５月	忠生中央こども会、どんぐり太鼓、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、すみれ会	７日間
６月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、リアン、町田ゆいまーる、きらり、障がい児者を守る会、日本総合サービス	11 日間
７月	どんぐり太鼓、青年学級、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、フラダンス、（株）障がい社	９日間
８月	どんぐり太鼓、町田ゆいまーる、フラダンス	４日間
９月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、ぶどうの木、忠生中央町内会	９日間
10 月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、グループホームにじ	９日間
11 月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、きらり	９日間
12 月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会、MC skip、ほっとステーションらら、きらり	12 日間
１月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、障がい児者を守る会	７日間
２月	青年学級、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、MC skip、きらり、	８日間
３月	癒しの会、どんぐり太鼓、すみれ会、町田ゆいまーる、MC skip、町田リアン、障がい児者を守る会、ドレミの仲間	１３日間
		１０７日

◇3-8 家族会

５月に保護者懇談会を行いました。新しい職員の紹介や、新年度の状況や活動写真、動画などを活用し、日々の様子を伝えました。今年度は夏祭りへのご協力もいただき、大変好評でした。

家族会はひかり療育園の応援団と考え、お互いに協力できる関係を継続していきます。

監査報告書

２０２５年5月２３日

社会福祉法人まちだ育成会
理事長　清水　謙一　殿

監事　山田 [redacted]

私は、２０２４年4月１日から２０２５年3月３１日までの２０２４年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員等に意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の状況を調査しました。以上の方法により、当該年度に係る事業報告等について検討いたしました。

２　監査の結果

一　事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

３　監査の意見

一　各施設での転倒について、年齢が上がると転倒は骨折や椎間板圧迫など大きな障害となることがあります。より一層行動の注意をお願いします。